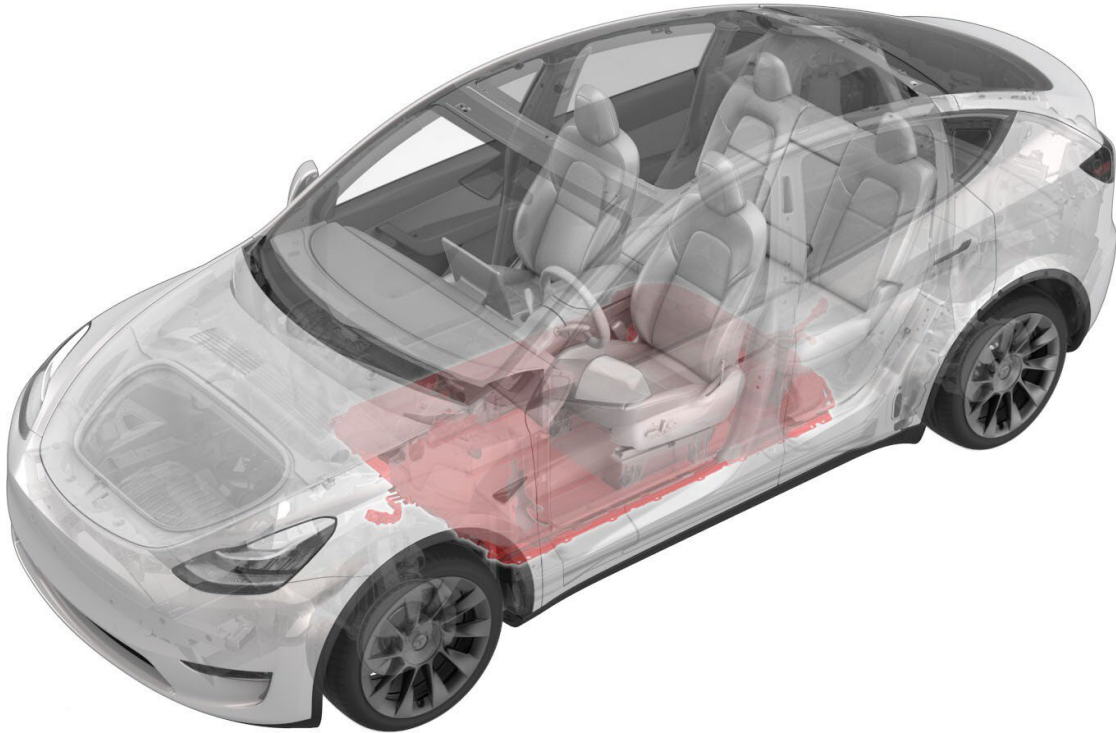


# HVバッテリー（AWD）

## （構造用パック）（取り外し・交換）



訂正コード 16010212

FRT 5.82

注：プロシージャに明示されていない限り、上記の修正コードとFRTは、リンクされたプロシージャを含め、このプロシージャを実行するために必要なすべての作業を反映しています。明示的に指示されない限り、訂正コードを重ねないでください。

注：FRTの詳細と作成方法については、[Flat Rate Times](#)を参照。FRT値に関するフィードバックは、[LaborTimeFeedback@tesla.com](mailto:LaborTimeFeedback@tesla.com) まで。

注：以下の実行する際に適切なPPEを着用していることを確認するために、[個人的な保護](#)を参照してください。

注：文言等に疑義ある場合には英文マニュアルを正とする

改定履歴：

- 2024-12-18: パイロディスコネクトを取り外す前に、HVバッテリーパラメータが安全な範囲内にあるかどうかを判断するステップを追加。
- 2024-11-07: 3相ハーネスの切断/接続手順を追加しました。•  
2024-10-31: HVバッテリー放電ステップを更新。
- 2024-09-11: LV対応するステップを追加しました。
- 2024-06-13: リフトパッドアダプターの PN を更新しました。

- 2024-06-07: パイロ切断の除去手順を追加しました。
- 2024-02-13: フロントおよびリアアンダーボディ鋳物のスレッド補修に関する情報を追加しました。
- 2023-11-21: 新しいリフトパッドの説明を追加。
- 2023-11-07: UI手順を更新し、ウェイドシール手順への参照を追加しました。
- 2023-08-25: EPB サービスモード参照を更新しました。
- 2023-05-22: 目立ちやすい放電警告追加。
- 2023-04-13: 交換用HVバッテリーがプラスチックパレットで出荷される場合の注意と警告を追加。
- 2023-03-16: 放電セクションを更新し、HVバッテリーを設定する手順を追加しました。
- 2023-03-15: リファレンスで手順を簡略化。



#### 警告

この手順はドラフトです。検証済みですが、警告および注意事項が欠落している可能性があります。高電圧システムおよびコンポーネントの近くで作業する場合は、安全要件に従い、細心の注意を払ってください。修正およびフィードバックは[ServiceDevelopment@teslamotors.com](mailto:ServiceDevelopment@teslamotors.com) までお願いします。



#### 警告

高電圧の認識に関するトレーニングを受け、必要な認定コース（該当する場合）をすべて修了した技術者のみが、この実行することを許可されます。適切な個人用保護具 (PPE) と、最低クラス 0 (1000V) の絶縁 HV 手袋を、高電圧ケーブル、バスバー、または継手を扱うときは常に着用する必要があります。その他の安全情報については、[技術資料 TN-15-92-003](#)「高電圧に関する注意点」を参照してください。



#### 注意

バッテリーを修理のために MRB に返却するなど、HV バッテリーを出荷する場合陸上輸送の場合はバッテリーの SOC が 50% 未満、航空輸送の場合は SOC が 30% 未満でなければなりません。SOCがこれらの値より大きい場合、バッテリーを出荷する前にHVバッテリーを許容値まで放電する必要があります。



#### 注意

HVバッテリーを装着せずに屋外に保管する場合は、水や動物の侵入を防ぐためにフロア開口部を塞いでください。コリジョンラップ材の使用を推奨する。

## 留意事項



警告：現地の法律に準拠するため、高電圧リチウムバッテリーは出荷梱包前に放電しておく必要があります。また、**HV** バッテリーは保管する前に放電する必要があります。出荷する**HV**バッテリーは



地域によって異なりますが、充電状態（SoC）が30%または50%未満であること。出荷方法が不明または不確実な場合、またはバッテリーを保管する場合は、HVバッテリーを30%未満まで放電することを推奨する。

警告：高電圧の絶縁が失われた HV バッテリを出荷または保管しないでください。出荷や保管のために梱包する前に、HVバッテリーの絶縁を確認してください。  
Toolbox article [#41977](#) または Customer Document [CD-21-16-003](#) に記載されている HV Battery Communication Tool を使用して、HV バッテリのパラメータが  
出荷または保管に適した安全な範囲内にあるかどうかを確認してください。

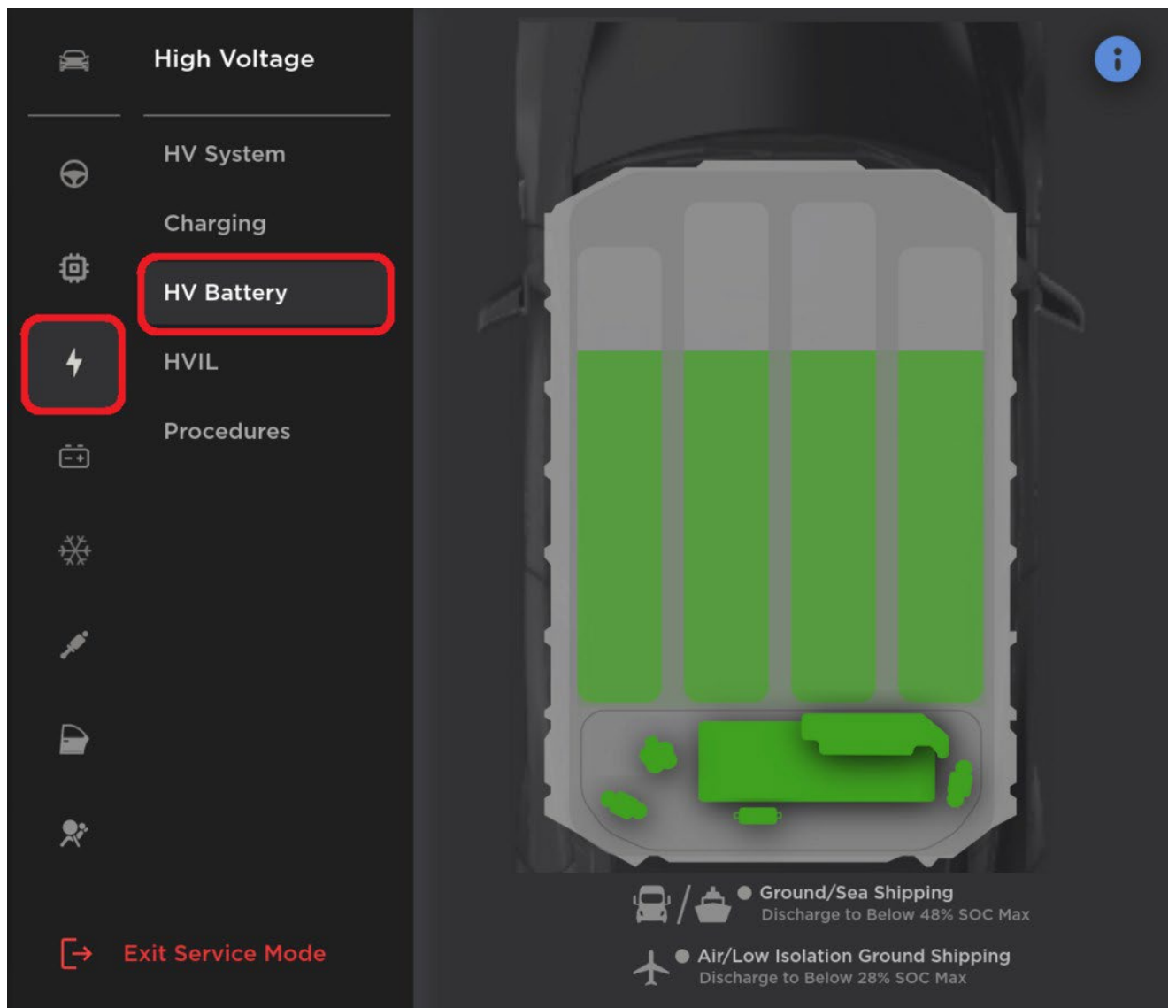
**i 注**

可能であれば、HV バッテリーを取り外す前に放電手順を実行してください。この方法は、バッテリーを取り外した後にバッテリー放電ツールを使用するよりも、より少ない時間とユーザー操作で済みます。バッテリー放電ツールは、認定された技術者のみが使用できます。

**i 注**

退院手続きのステップはほとんどタッチタイムで、サービス・アドバイザー / フロント・オブ・ハウス・チームやサービス・テクニシャンが行うことができます。

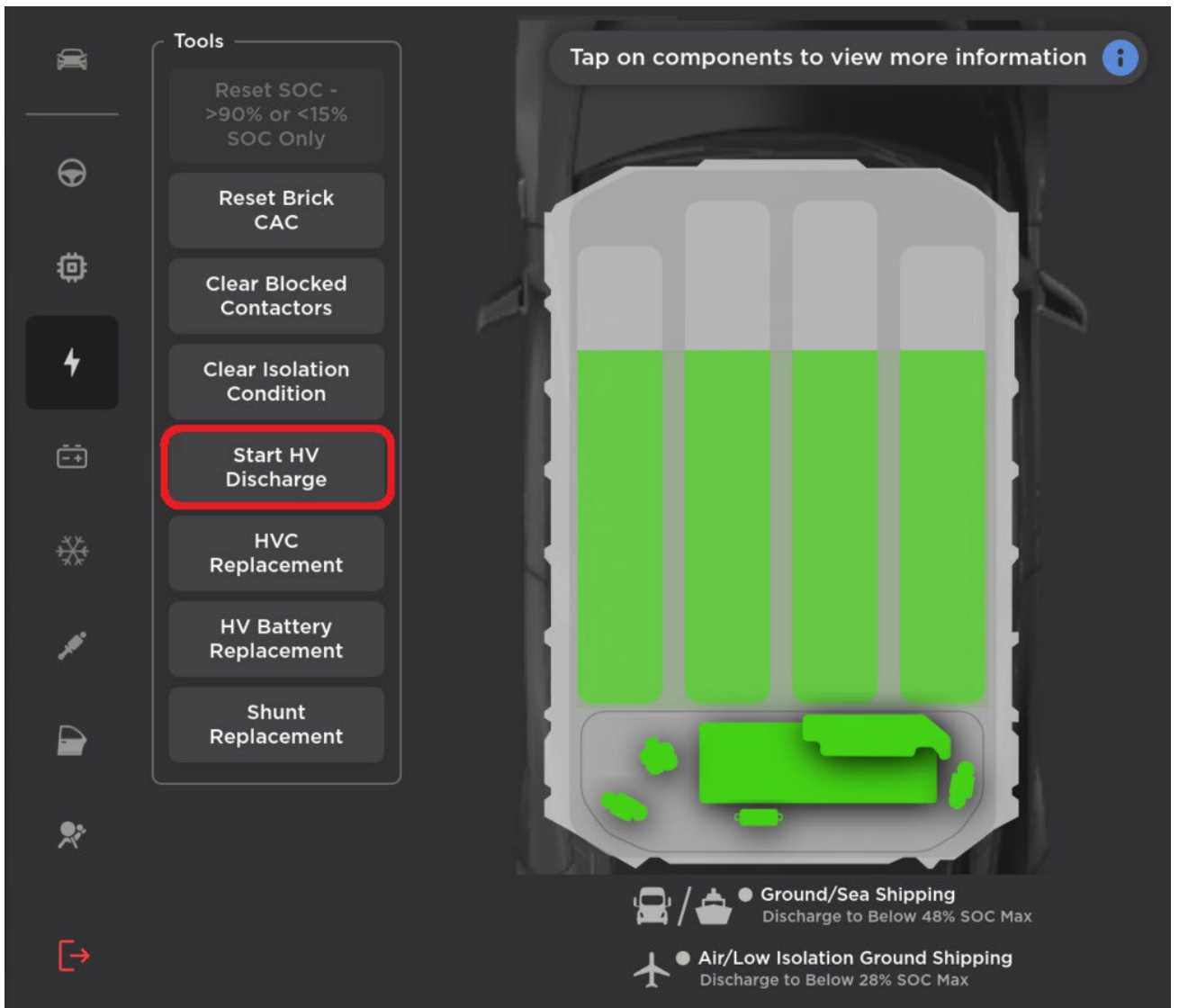
1. サービスモードプラスを有効にする。 [サービスモ](#) **+** .
2. 車両の現在のSOC Maxを確認する： Service Mode Plusメニューで、**High Voltage> HV Battery**をタッチし、大きなHV BatteryダイアグラムをタッチしてHV Battery情報ウィンドウを表示します。
  - SOC Max が SOC 出荷基準値より小さい場合は、この手順の **Remove** セクションに進んでください。•SOC Max が SOC 出荷基準値より大きい場合は、次の手順に進んでください。
3. 無人で安全にバッテリーを放電できる場所に車両を移動します。
4. Service Mode Plusメニューで、**High Voltage> HV Battery**をタッチします。



5. ツール]セクションで[HV放電を開始]をタッチし、開いたウィンドウで[実行]をタッチします。

**i 注**

排出ルーチンは開始され、表面輸送の SOC Max 値に達すると自動的に停止する。



## Start HV Battery Discharge

PROC\_VCFRONT\_X\_HV-DISCHARGE-START



Pumps, Fans, and Drive Unit(s) may start making noise to produce/reject heat.

This routine starts discharging the HV Battery by producing waste heat in the Drive Unit(s) and rejecting that heat out the radiator.

The routine will automatically stop when the HV Battery state of charge (SOC) max reaches the user selected target.

### Parameters

#### Shipping Method Selection

Select the shipping method of the vehicle, which determines the SOC % to which the vehicle will discharge (GROUND\_OR\_SEA = 45%, AIR = 25%). Otherwise, select CUSTOM and enter the desired target SOC below.

GROUND\_OR\_SEA ▼

#### Target SOC

Enter the desired target SOC to which the vehicle will discharge.

45

Close

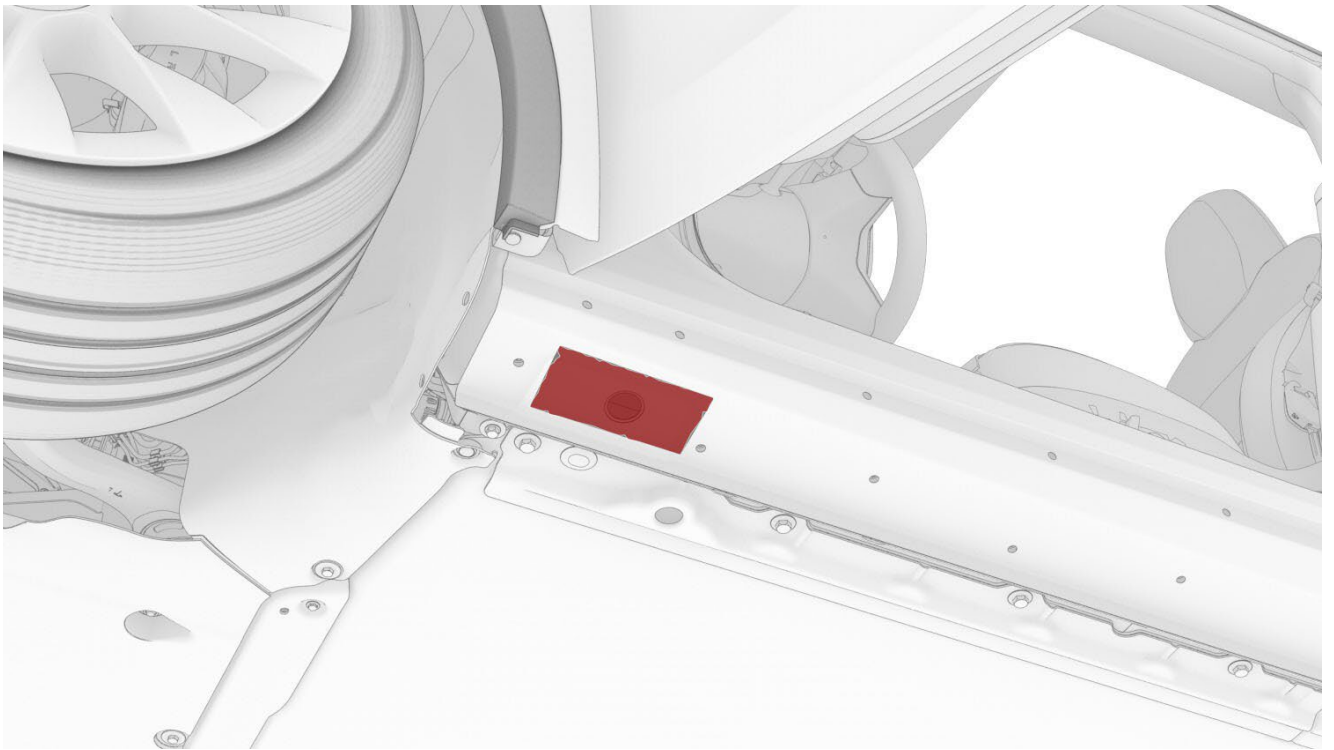


Run

6. 排出後、車両をサービスベイに移動する。

## 削除

1. 車両ソフトウェアのバージョンが2023.20以降であることを確認し、そうでない場合は最新アップデートしてください。参照  
[ソフトウェアの更新](#)  .
2. LH ロッカーパネルキャリアを取り外します。 [キャリア-ロッカーパネル-LH（ストラクチャルパック）（取外しおよび分解）](#) を参照。  
[交換](#)  .
3. LHロッカーのアクセスホールを覆っているブチルパッチ（x2）を取り外します。



4. リフトパッドアダプターを取り付ける。

- EMEAのみ、アダプタ、リフトパッド、モデルY (1614078-00-A)を取り付けてください。
- その他の地域には、ユニバーサル・リフト・パッド・アダプター (1936724-00-A) を取り付けてください。

 警告

他のリフトパッドアダプターは使用しないでください。

 注

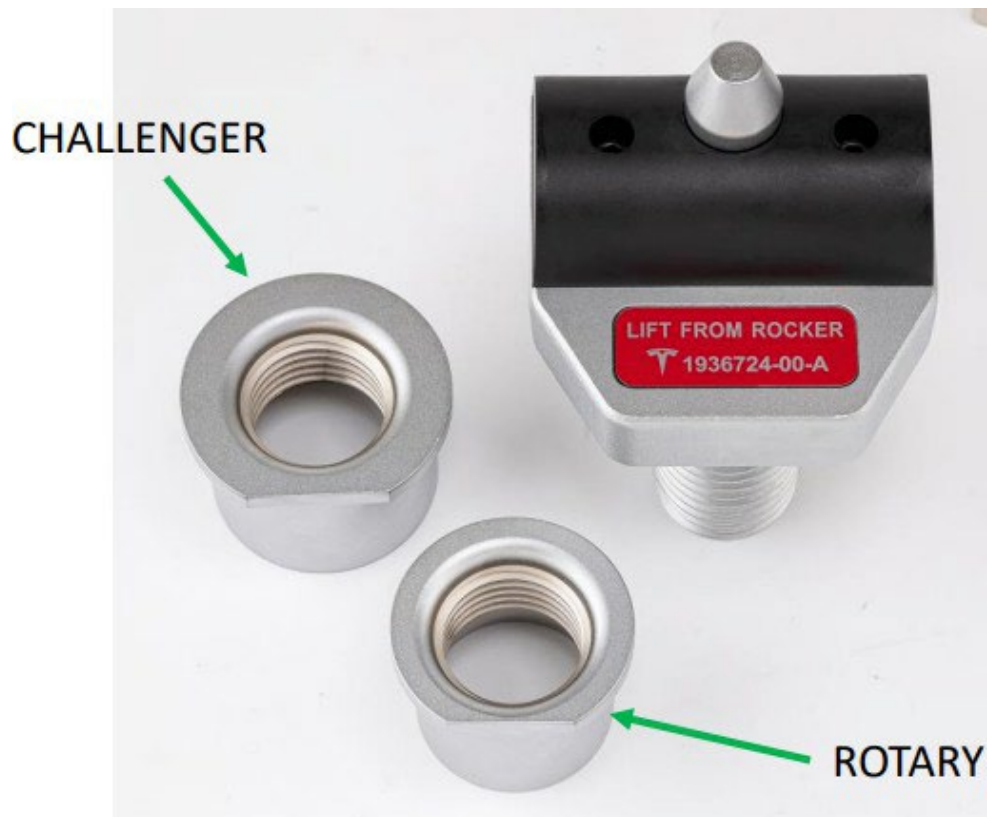
EMEA 域外では、ユニバーサル・リフト・パッド・アダプタ (1936724-00-A) が、アダプタ、リフト・パッド、モデル Y (1614078-00-A) と置き換わります。その他のバージョンのリフトパ

 注

EMEA では、ユニバーサル・リフト・パッド・アダプターはまだ販売されていません。Y型にはゴム製のY型リフトパッドを、3型には3型リフトパッドをご使用ください。

ユニバーサルリフトパッドアダプターの説明書:

- a. リフトのタイプに応じて、正しいスレッドアダプターをリフトアダプターに取り付けてください。



- b. ネジ止めワッシャーがリフト・アダプターの底部に取り付けられ、締め付けられていることを確認してください。ネジ止めワッシャーが取り付けられていない場合、リフト・アダプターを使用し続けしないでください。



- c. 黒いリフトパッドが車両側になるように、リフトアダプターをリフトアームに取り付けます。



#### 警告

アダプターが正しい向きで取り付けられていることを確認してください。

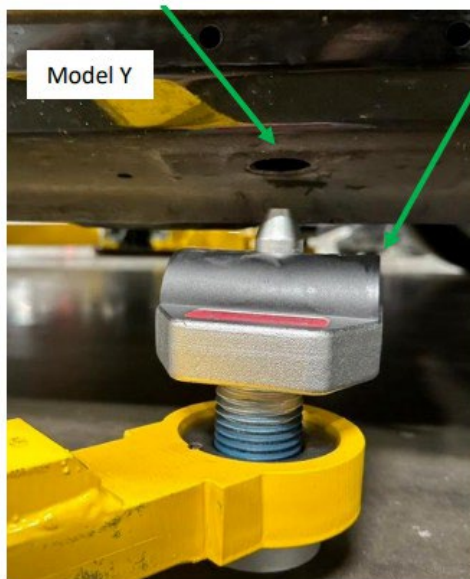
This side  
toward  
vehicle



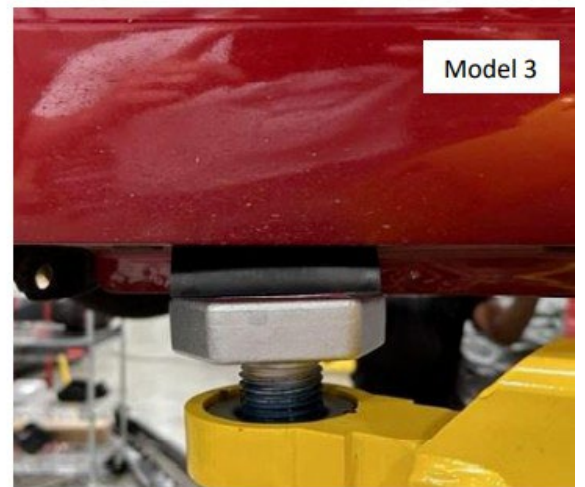
- d. リフトアダプターが車両の基準穴に合うようにリフトアームを配置します。

ALIGN PIN WITH DATUM HOLE

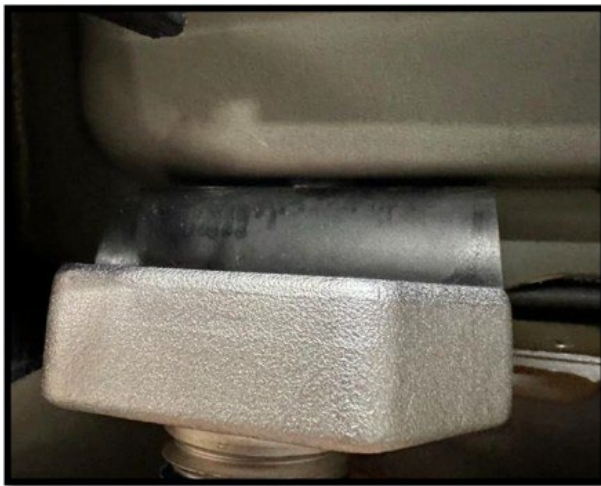
THIS SIDE OF LIFT PAD  
TOWARDS VEHICLE



- e. リフトアームを持ち上げ、リフトパッドを車両に完全に固定します。



f. 4つのアダプターがすべて車両に完全に収まっていることを確認してください。





5. 車両のRH側について、手順2から4を繰り返します。
6. すべてのドアを開け、すべての窓を下ろす。
7. EPB サービスモードを有効にします。 パーキングブレーキ-キャリパー-リア-LH（リフース）を参照。
8. まだ有効になっていない場合は、サービスモードプラスを有効にします。 サービス・モード・プラスを参照
9. タッチスクリーンでサーマルシステムルーチンにアクセスします: **Quick Controls**（クイックコントロール>**Service Mode**（サービスモード）>**Diagnostics**（診断）>**Thermal**（サーマル）をタッチします。

**i 注**

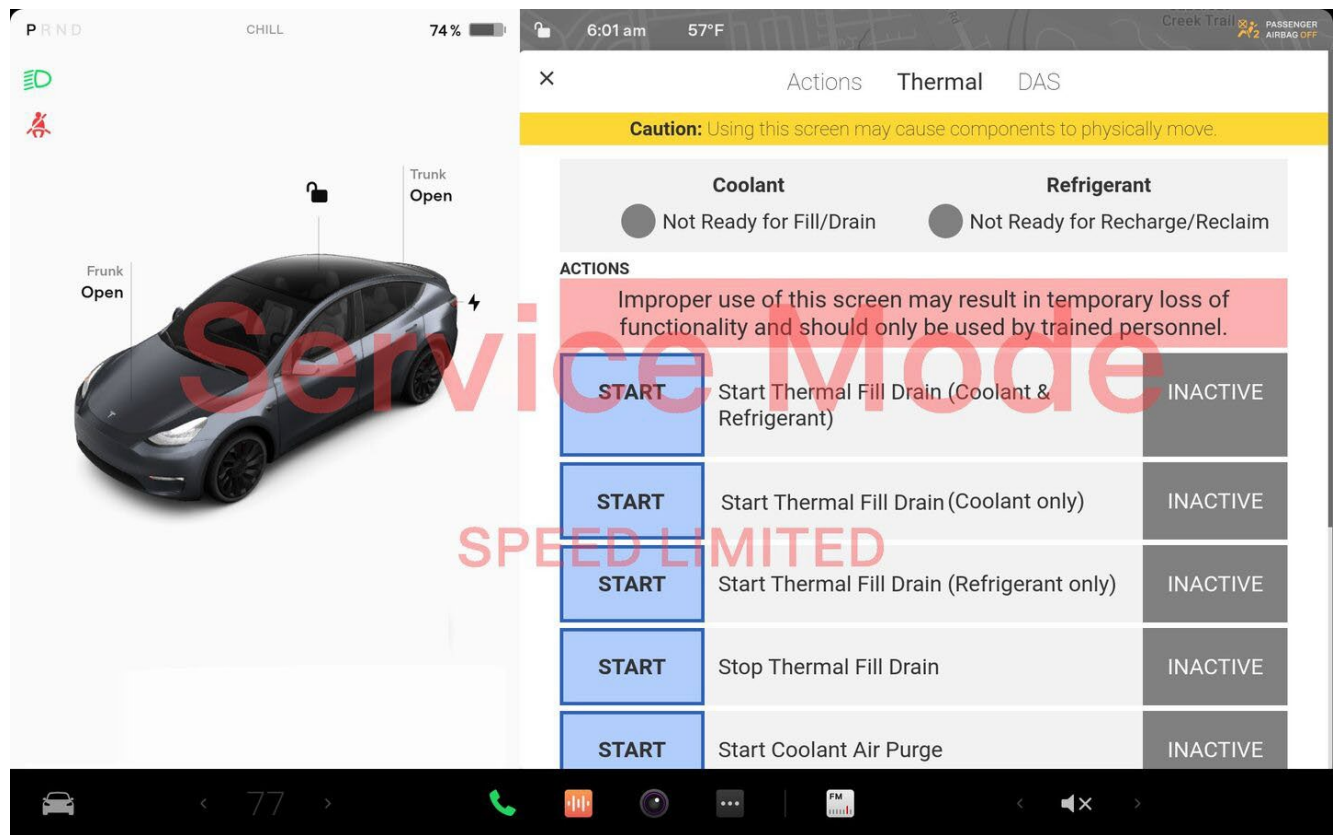
キーを車内に入れたままブレーキをかけ、方向指示器のストークを最大に上げて（右回し）、ルーチンを許可する。

|

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

||

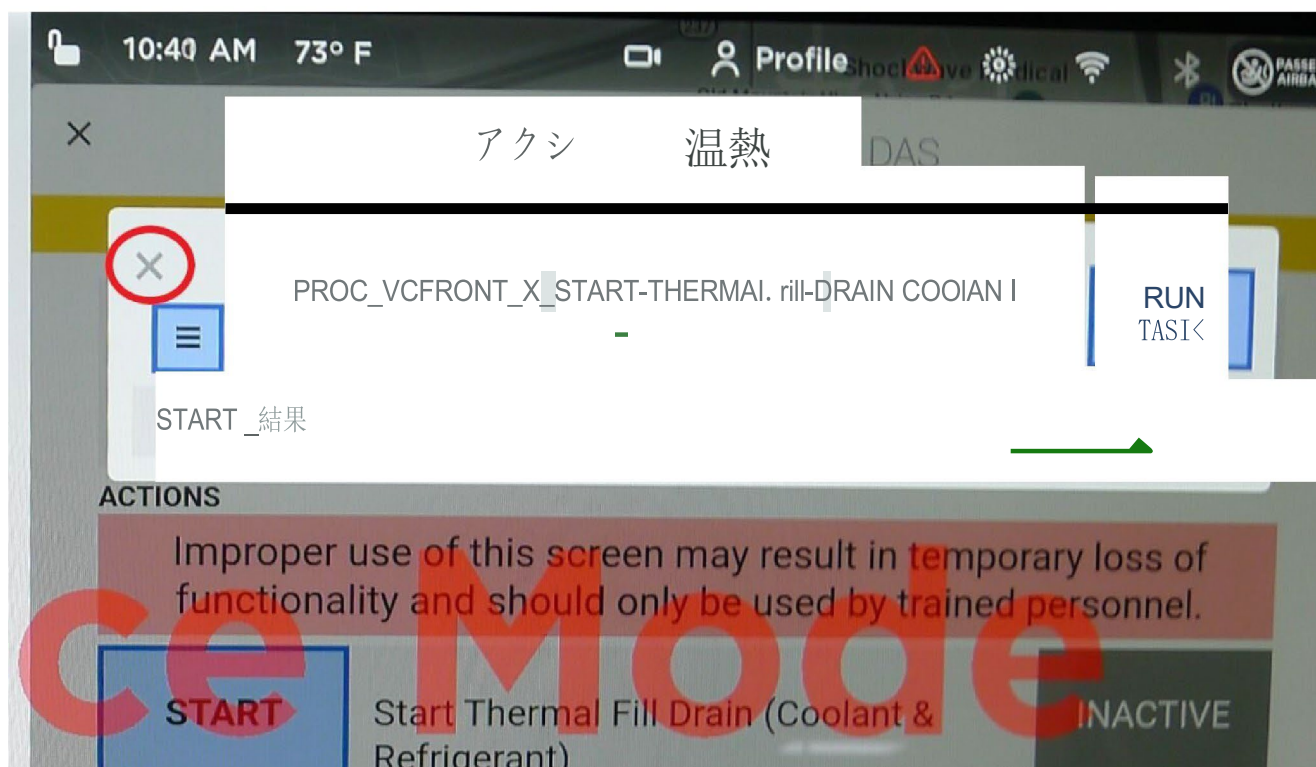


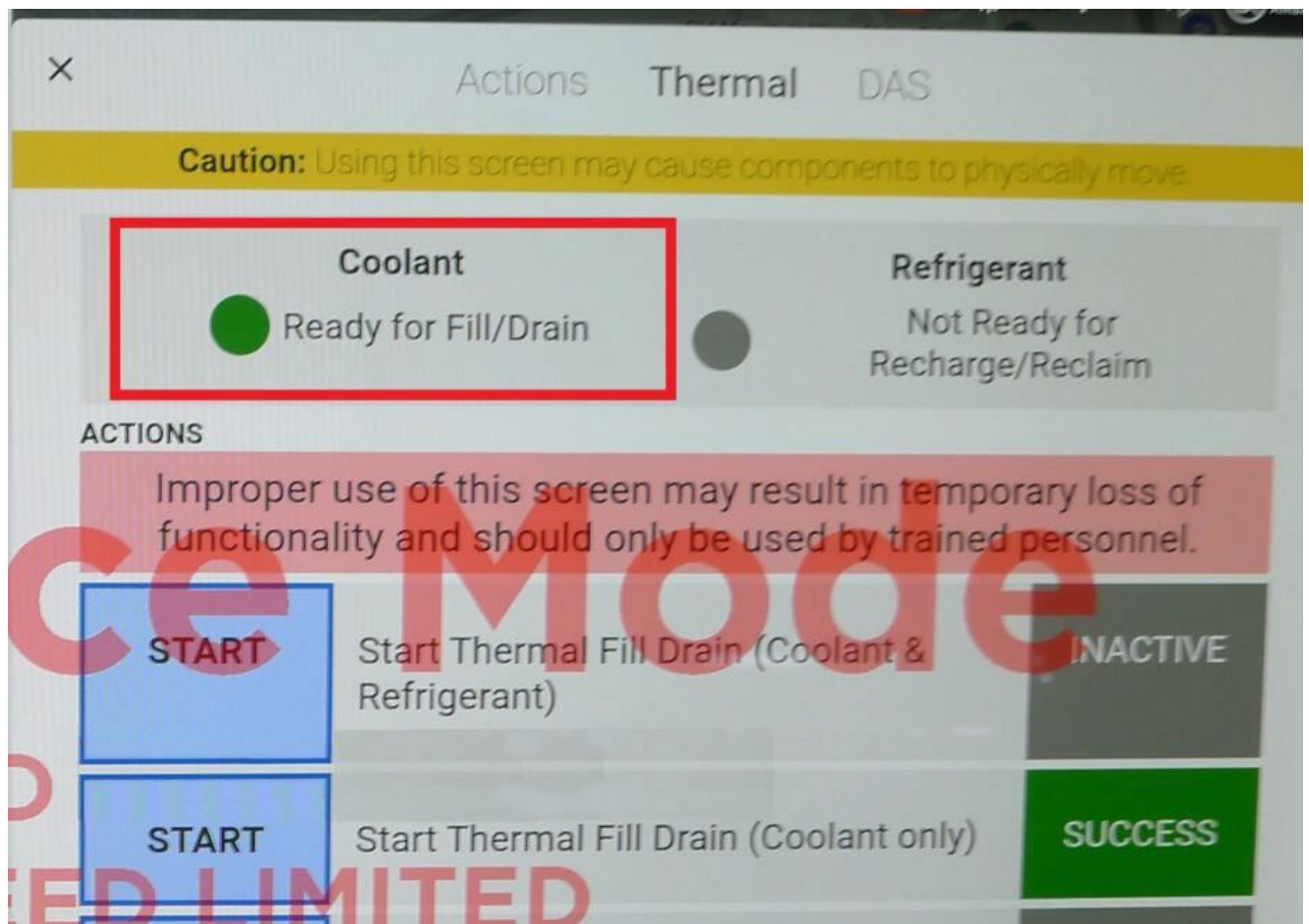
10. タッチスクリーンで[Start Thermal Fill Drain (Coolant Only)]をタッチします。

**i 注**  
完了したら、ウィンドウの左上にあるXをして閉じます。

**i 注**  
インジケータが緑色に表示され、車両がクーラント充填 / 排出の準備ができていることを確認します。

**i 注**  
サーマル「フィルドレイン」ルーチンには5時間の時間制限があります。5時間後、ルーチンを再度実行する必要がある。





11. ノートパソコンの接続を外し、車両から取り外します。

**i 注**

Toolbox3.0は閉じないでください。後で再開する必要があります。

12. LHおよびRHフロント取り外します。シートアセンブリー-1列目-LH（取り外しと交換）」を参照。
13. LH フロントカーペットを取り外します。カーペット-フロント-LH（構造用パック）（取外しおよび交換）を参照。
14. LH カーペットサポートを取り外します。サポート - カーペット - LH（構造用パック）（取り外しと交換）を参照。
15. RH フロントカーペットを取り外します。カーペット-フロント-RH（構造用パック）（取外しおよび交換）を参照。
16. RH カーペットサポートを取り外します。サポート - カーペット - RH（構造用パック）（取外しおよび交換）を参照。
17. センターコンソールを取り外します。センターコンソール(2.0) (構造用パック) (脱着)をご参照ください。
18. 2 列目シート下部のクッションを取り外します。シートクッション - 下部 - 2列目（取り外しと交換）を参照。
19. LHおよびRH下部Cピラートリムを取り外します。トリム - C ピラー下部- LH（取外しおよび交換）を参照。

20. LH と RH の下部 B ピラートリムを取り外します。トリム-Bピラー-下側-LH（構造用バック）（取外しおよび分解」を参照。

交換)

+

21. リア・フロアマットを外す。

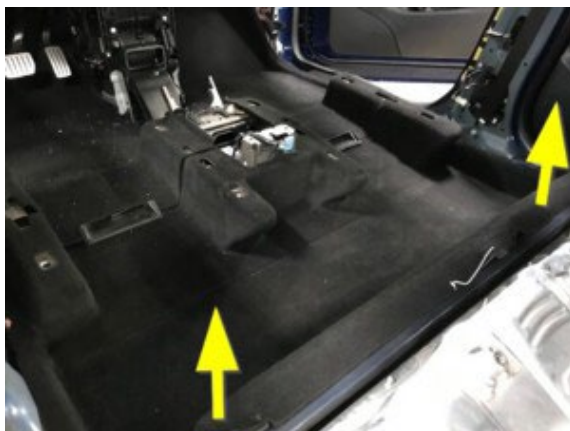
22. 後部メインキャビンカーペットを車両に取り付けているクリップ (x3) を取り外します。



23. リアメインキャビンカーペットを車両から取り外す。

**i** 注

リアメインカーペット後部を引き上げ、後ろにスライドさせ、LHリアドアから取り外す。





24. LH ライザーサイドカーペットサポートブラケット を取り外します。

 注  
2xタブ。



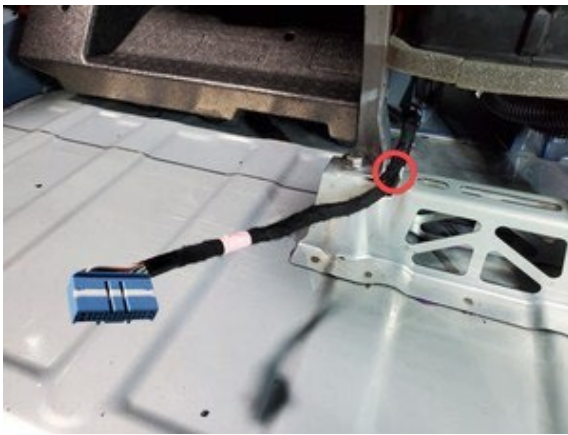


25. RH ライザーサイドカーペットサポートブラケット を取り外します。

**i** 注  
2x タブ。



26. センターコンソールハーネスをボディに取り付けているクリップを外す。



27. LH と RH の下部 IP キャリアブラケットを取り付 けるボルト (x4) を取り外します。



28. LHとRHのフロアダクトを取り外します。



29. LHおよびRHセンターコンソールロアレールを取り付 けているボルト (x4) を取り外し、廃棄します。

**i 注**

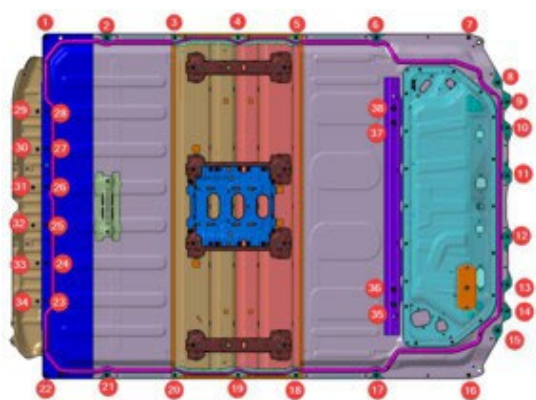
レールを前方にスライドさせ、センターコンソールライザーアセンブリーから外します。



30. リアインナー HV バッテリーボルト (x4) をラチェットで緩め、バッテリー駆動ドリルで取り外します。

**i 注**

ボルトはリアメインカーペットの下にあり、ボルト位置は35から38。



31. 車両を快適な作業高さまで上げます。レイズ・ビークル - 2ポストリフトを参照。
32. フロントエアロシールドを取り外す。パネル-エアロシールド-フロント (ストラクチャルパック) (脱着 **+** ) を参照。
33. LHおよびRHフロントホイールアーチライナーを取 外します。ホイールアーチライナー-フロン

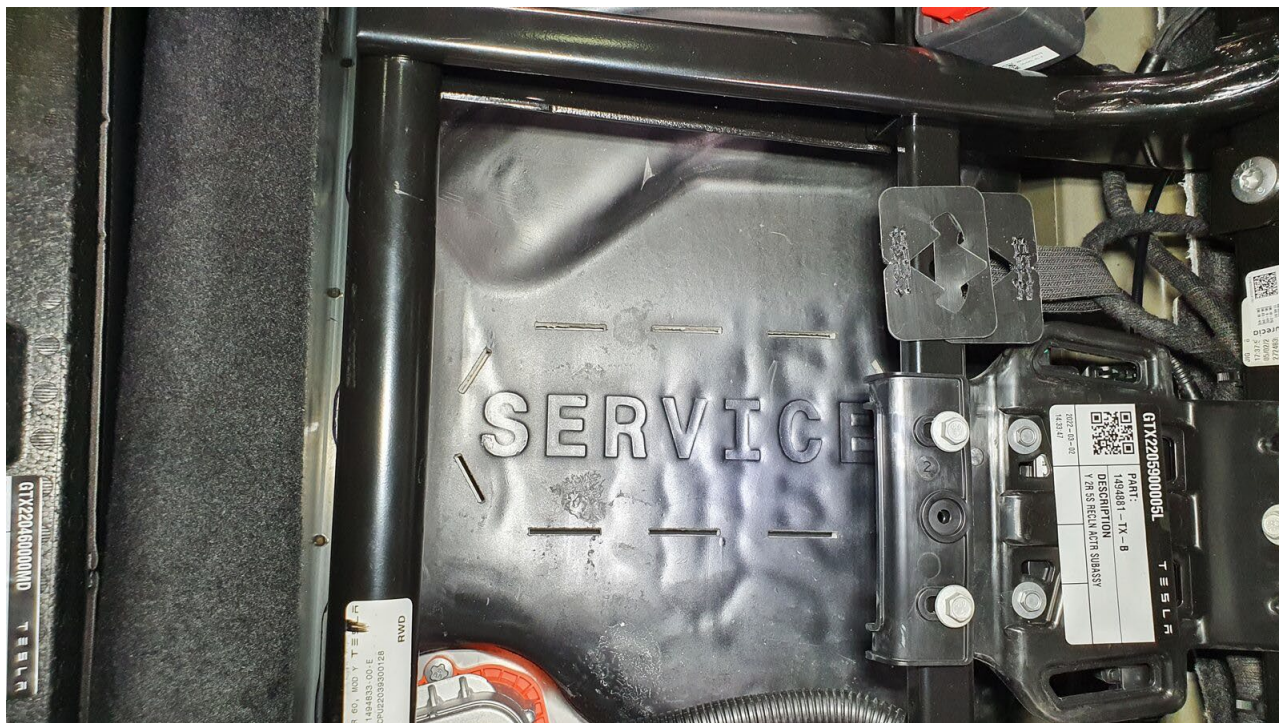
ト-LH（ストラクチャルパック）（取外しおよび交換）を参照。

34. ミッドエアロシールドを取り外す。パネル-エアロシールド-中間（脱着）」を参照。

35. 車両 HV 無効化実行する。車両HV無効化手順（ストラクチャルパック）参照  
+ .

36. HVバッテリーを出荷する前に、パイロディスコネクトを補助ベイから取り外してください:

- a. 断熱材の場合、必要に応じて断熱材を切断し、パイロディスコネクトカバーにアクセスできるようにします。



- b. ツールボックスの記事番号41977に記載されているHVバッテリー通信ツールを使用+ます。 またはお客様文書CD-21-16-003 + の前に、HVバッテリーのパラメータが安全な範囲内にあるかどうかを判断する。
- c. まだ行っていない場合は、HV絶縁手袋、革製アウターグローブ、安全眼鏡を着用する。



警告

脱ぐよう指示があるまで、PPEの着用を続けること。



- d. パイロディスクコネクタカバーを補助ベイハウジングに取り付けているボルト (x2) (トルク 10 Nm) を取り外し、カバーをハウジングから取り外します。

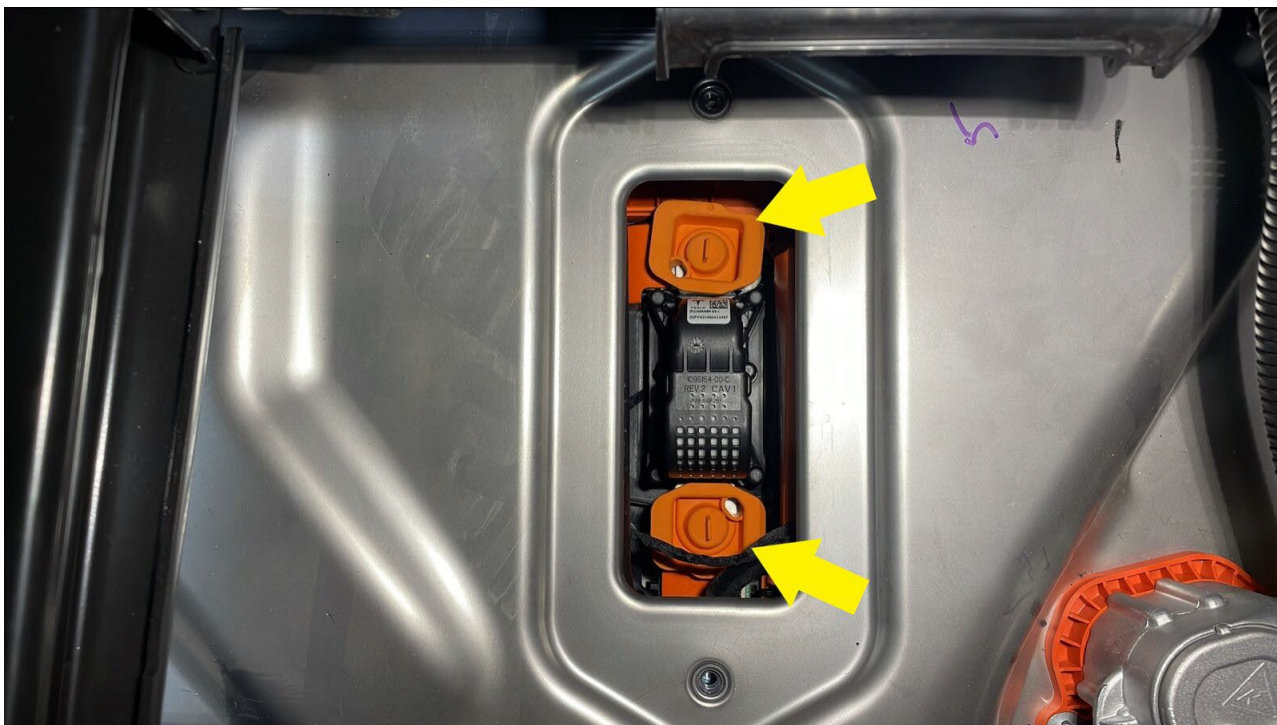
**i 注**

以下の工具の使用を推奨する：外部トルクスE10

- ◆ フレックスヘッドラチェット / フレックスヘッドトルクレンチ
- ◆



- e. パイロディスクコネクタインシュレーター(x2)を補助ベイから取り外し、インシュレーターを横に置きます。



f. パイロディスコネクトを補助ベイに取り付けているボルト (x2) (トルク 5 Nm) を取り外し、廃棄する。

**i** 注

以下の工具の使用を推奨する：絶縁エクステンション

- ン 1/4インチドリル x 6インチ
- 絶縁ラチェット1/4インチドリル標準
- 絶縁ソケット1/4インチドリル6pt.標準 x 13
- mmキット、HVパイロディスコネクト交換、
- M3



g. パイロディスコネクタを外し、パイロディスコネクタを補助ベイから外す。

**i 注**

慎重にパイロディスコネクタを真上に持ち上げて補助ベイから外し、電気コネクタを外す。

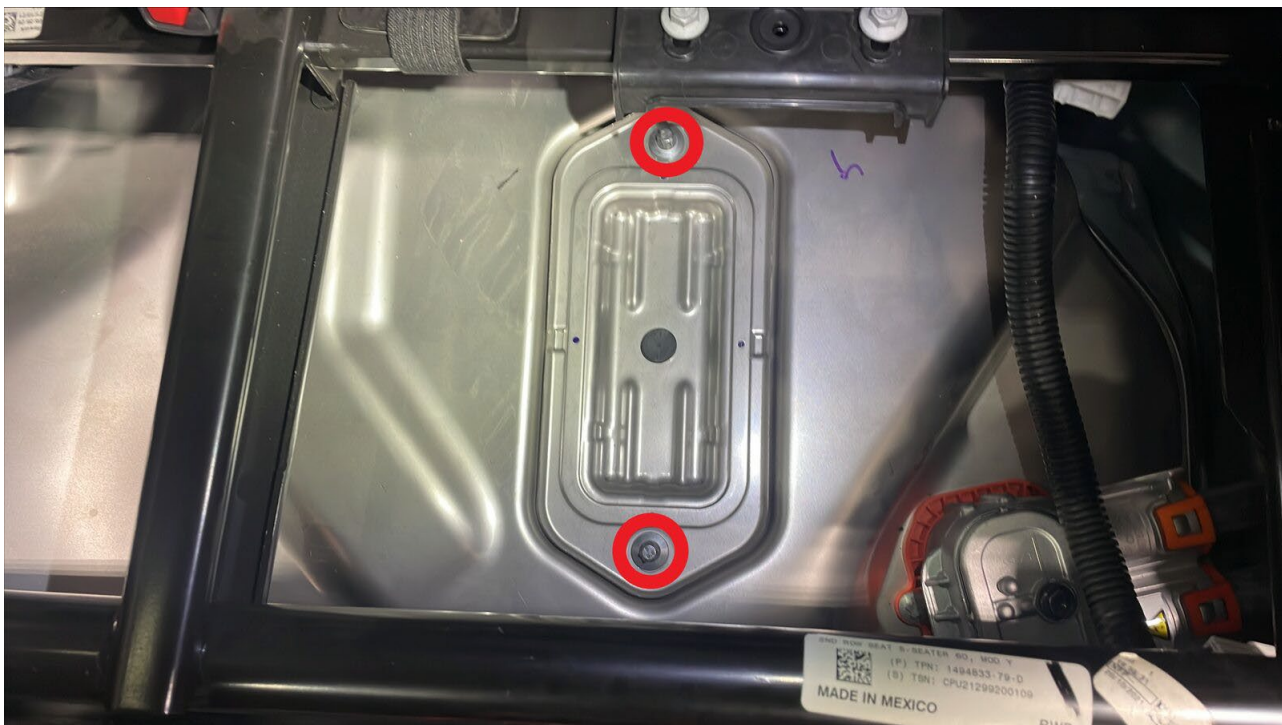


- h. パイロディスクコネクタカバーを補助ベイハウジングに取り付け、カバーをハウジングに取り付けるボルト (x2) (トルク 10 Nm) を取り付けます。

**i 注**

以下の工具の使用を推奨する：外部トルクスE10

- フレックスヘッドラチェット / フレックスヘッドトルクレンチ
- トルクレンチ、デジタル+角度、3/8インチ径、フレックスヘッド、13.5～135 Nm
-

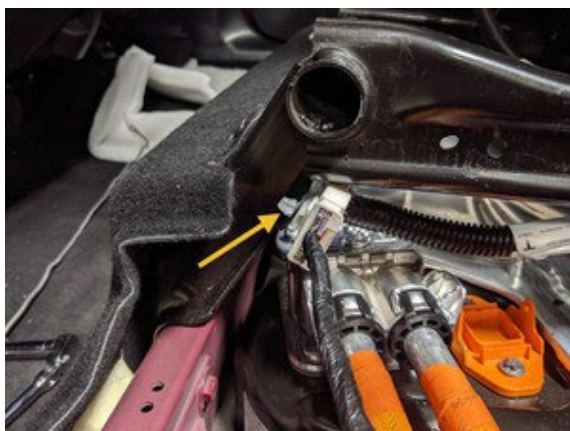


i. 高電圧やその他の安全上のさらされることがなくなれば、PPEを外すことができる。

37. LHシートロジックコネクタを外します。



38. ロジックコネクタハーネスをLHシートフレームに取り付けているクリップを外します。



39. バスバーカバー・アクセス・ドアを取り付けているボルトを外します。



40. チャージポートバスパーキットを HV ヘッダーに取り付けているボルト (x2) を取り外します。



41. LHボディハーネスをリアボディに取り付けているクリップを外し、ハーネスを脇にずらす。





42. バスバーキットのコンネクターを持ち上げてHVヘッダーから外します。

**i 注**

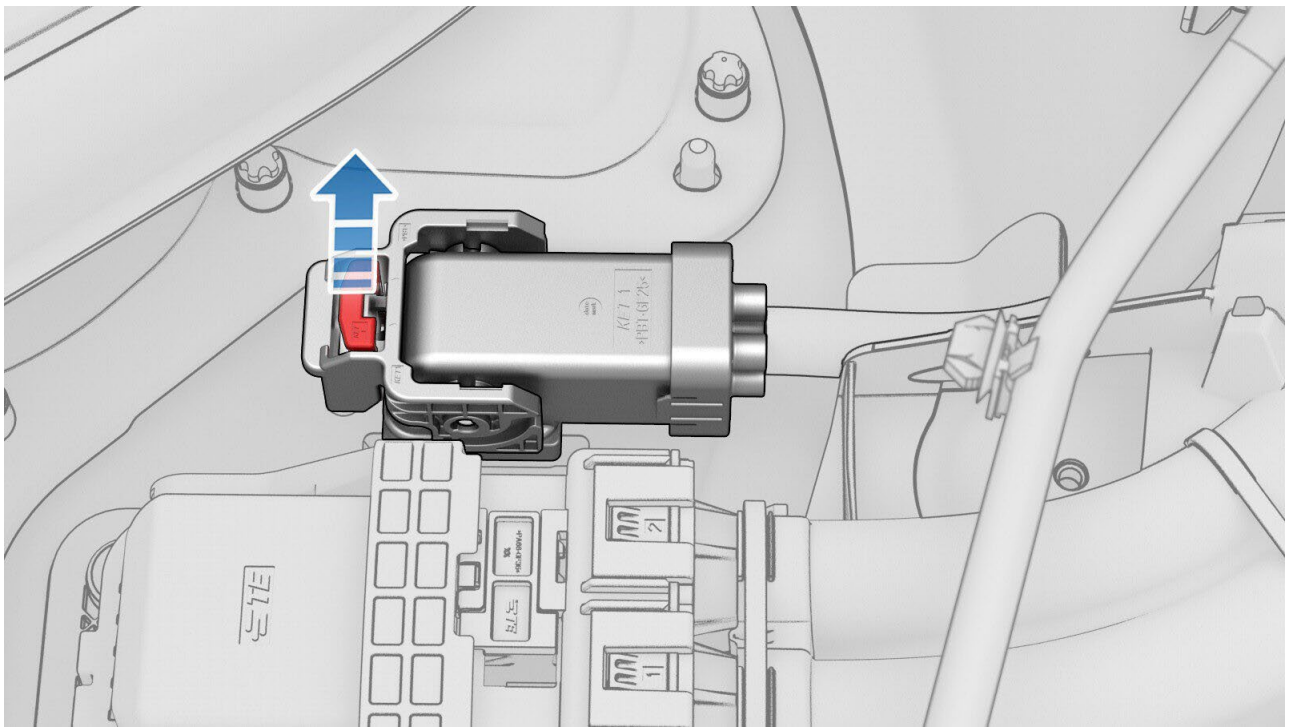
取り外しと取り付けの際、HVヘッダーからバスバーを吊り下げるため、膨張式エアバッグを使用してください。



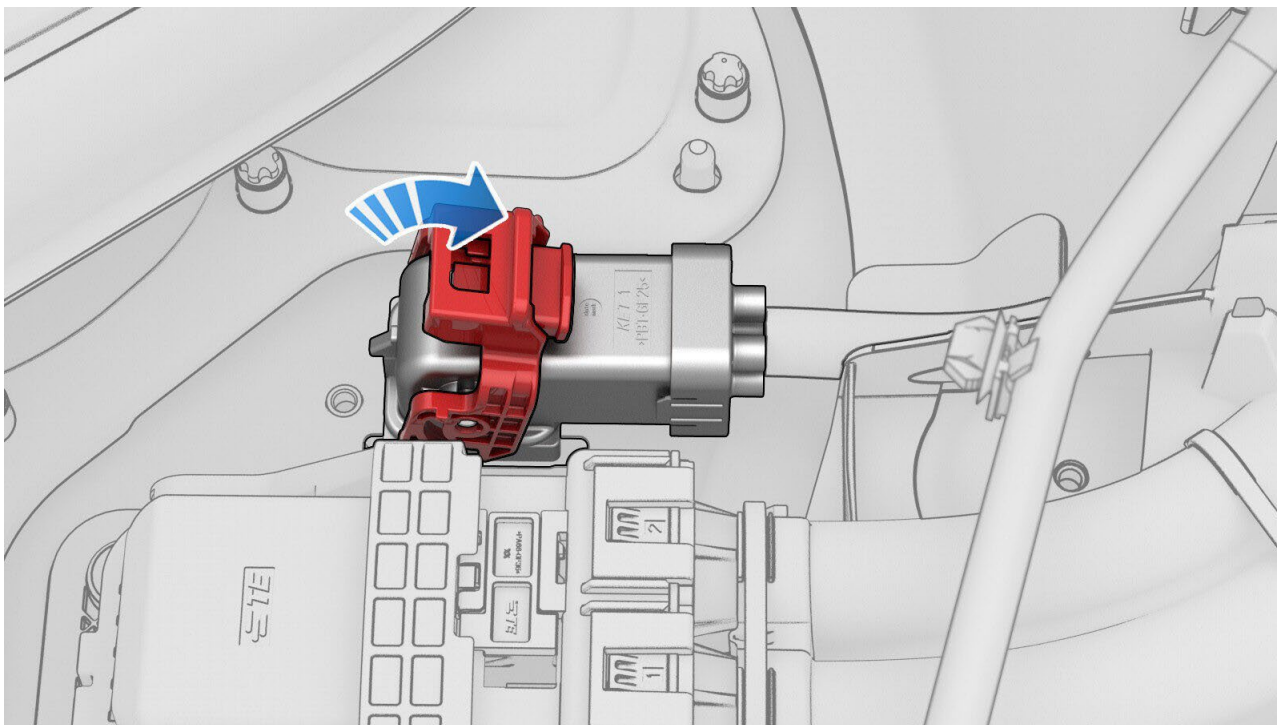


43. 充電ポートとHVバッテリーの間に三相（AC）接続がある場合は、それを外します：

- a. リリースをスライドさせて、充電ポートからHVバッテリーハーネスの3相コネクタハンドルを固定を解除する。



- b. 3相コネクタのハンドルを完全に上げます。

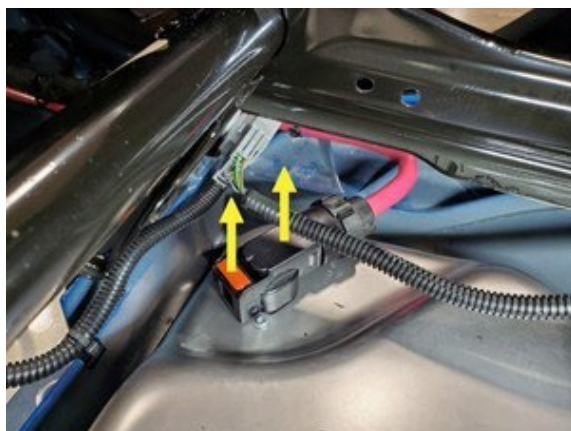


c. アンシラリベイ3相ヘッダーから3相コネクタを取り外す。

44. HVC ロジックコネクタを外し、ロジックキャップを取り付けます。



45. LV電源コネクタをHVバッテリーから外す。



46. 車両を快適な作業高さまで上げます。車両を上げる - 2ポストリフトを参照。

+

47. クーラントドレン容器をHVバッテリー前部LHの下に置く。



48. 車両の LH フロント側で PT 供給ホースを外す。

**i** 注

1x スプリングクリップ。ホースの接続部を塞ぐ。

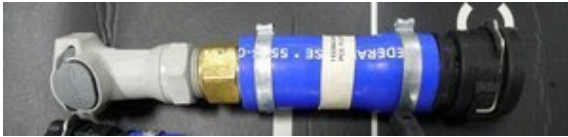


49. PCS 洗浄アダプターを PT 供給ホースに取り付けます。

**i** 注

プラグを取り外します。プッシュ・プル・プッシュテストを実施し、フラッシュアダプターが完全に  
装着されて、フラッシュが成功したことを確認します。



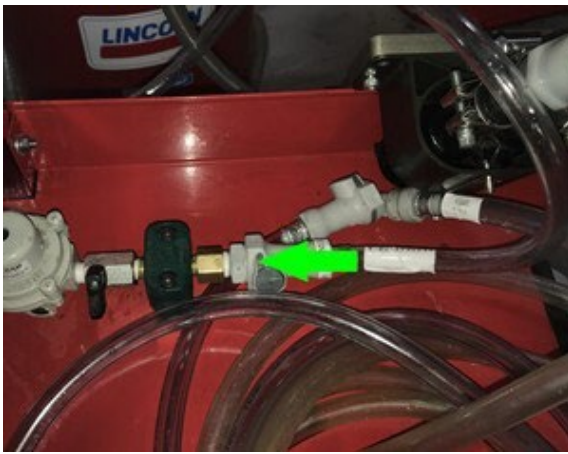


50. クーラントカート洗浄ホースをレギュレータおよび PCS 洗浄アダプタに取り付けます。

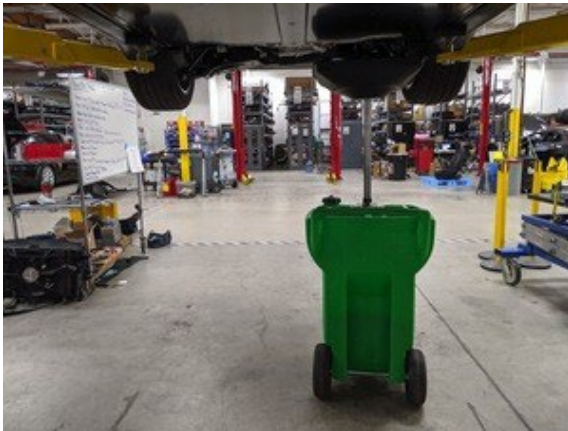
**i** 注

レギュレーターバルブが閉じていることを確認してください。圧力レギュレーターは調整できません。





51. クーラントドレン容器を LH RDU 部分の下に置きます。

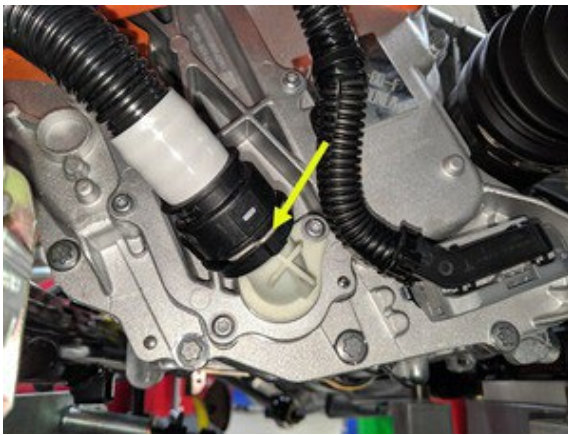


52. RDU インバータインレットホースを RDU HV ケーブルに取り付けているクリップを取り外します。



53. RDU インバータインレットホースを液体カップリングから外します。

**i 注**  
プラグドライブユニットのカップリング。



54. 圧縮空気ラインをクーラント圧力テストに取り付けます。

**i** 注

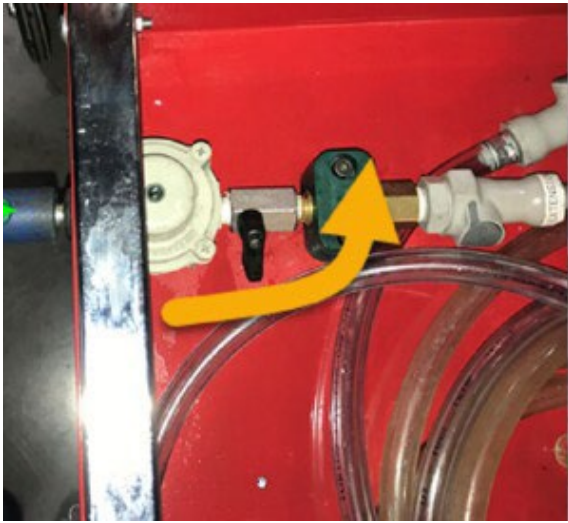
圧力レギュレーターのバルブが閉じていることを確認してください。



55. 圧力レギュレータのバルブをゆっくりと開き、クーラントを完全に排出させます。

**i** 注

すべてのホースの接続部に目を配り、漏れがないことを確認する。



56. RDU インバータインレットホースからクーラントが排出されなくなったら、圧力レギュレータのバルブを閉じます。



57. クーラント圧力テスターから圧縮空気ライン を外します。



58. クーラントドレン容器をHVバッテリー前部LHの下に置きます。



59. PT 供給ホースから PCS 洗浄アダプタを取り外します。

**i** 注  
必要に応じてホースの接続部を塞ぐ。





60. カート圧力ホースから PT 洗浄フィッティングアダプタを取り外します。



61. クーラントドレン容器をHVバッテリーパックの前面中央 部の下に置きます。

**i 注**

フロント左マニホールドバッテリー供給チューブの下。





62. フロント左マニホールドのバッテリー供給チューブを外します。

**i 注**  
必要に応じてホースの接続部を塞ぐ。



63. バッテリードレイン継手アダプタをフロント左マニホールドバッテリー供給チューブに取り付けます。

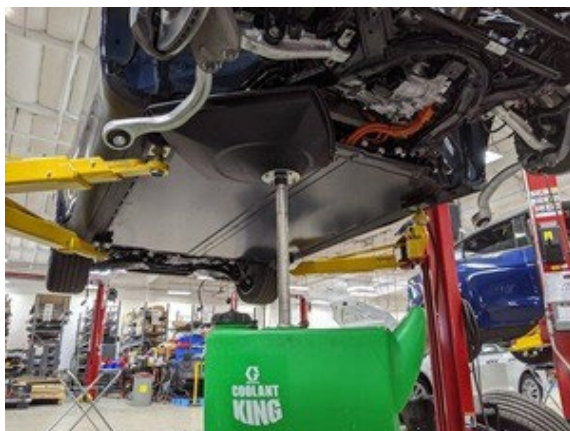
**i 注**  
バルブが閉じ、アダプターがマニホールドチューブにロックされていることを確認する。



64. クーラント・カート・フラッシュ・ホースをバッテリー・ドレイン・フィッティング・アダプタに固定します。



65. クーラントドレン容器をHVバッテリー前面RHの下に配置する。



66. HV バッテリ RH フロント・インレット・ホースを外し ます。

**i 注**  
必要に応じてホースの接続部をふさぐ。



67. HV バッテリー RH フロントインレットホースをスキッドプレートに取り付けているクリップを取り外します。



68. 圧縮空気ラインをクーラント圧力テスターに取り 付けます。

**i 注**

圧力レギュレーターのバルブが閉じていることを確認してください。



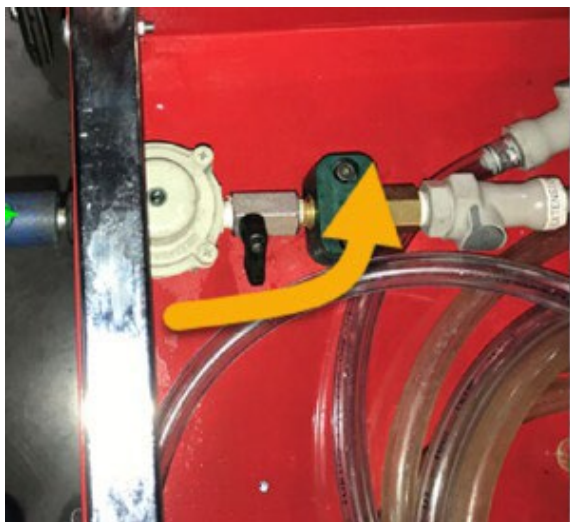
69. バッテリードレイン継手アダプタのバルブを開きます。



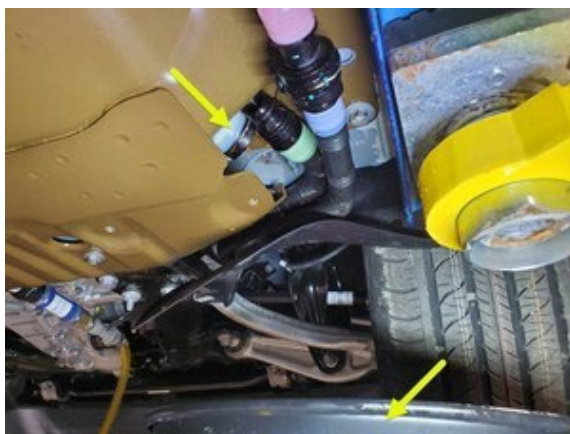
70. 圧力レギュレータのバルブをゆっくりと開き、クーラントを完全に排出させます。

**i 注**

すべてのホースの接続部に目を配り、漏れがないことを確認する。



71. HVバッテリーRHフロントインレットポートからクーラントが排出されなくなったら、圧力レギュレータのバルブを閉じます。



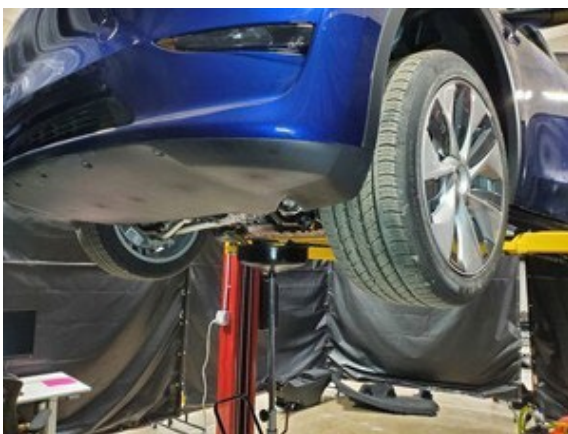
72. クーラント圧力テストから圧縮エアを外します。



73. クーラントドレン容器をHVバッテリーパックの前面中央 部の下に置きます。

**i** 注

フロント左マニホールドバッテリー供給チューブの下。



74. 左前のマニホールド・バッテリー供給チューブから バッテリー・ドレン継手アダプタを取り外します。

**i** 注

必要に応じてホースの接続部を塞ぐ。



75. カート・ドレンホースからバッテリー・ドレン継手アダプタを取り外します。



76. クーラントドレン容器をHVバッテリー前面RHの下に置きます。



77. 車両の RH フロント側で PT リターンホースを外す。

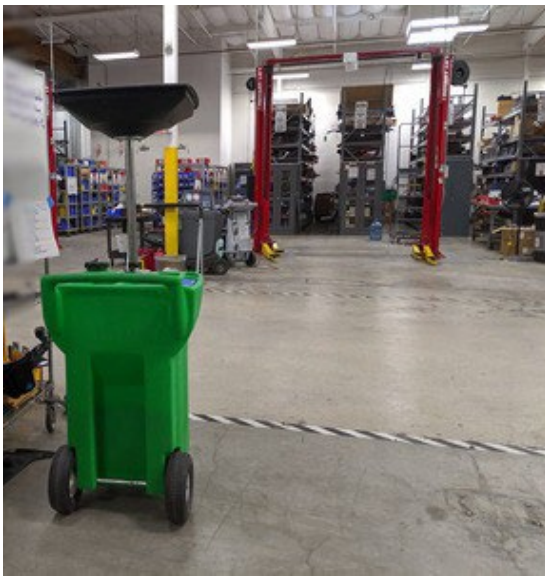
**i 注**  
必要に応じてホースの接続部を塞ぐ。



78. PT リターンホースを HV バッテリーパックの RH フロント側に取り付けているクリップを取り外します。



79. 車両の下からクーラントドレン容器を取り外します。



80. FDU HV ハーネスを FDU に取り付けているボルトを外します。

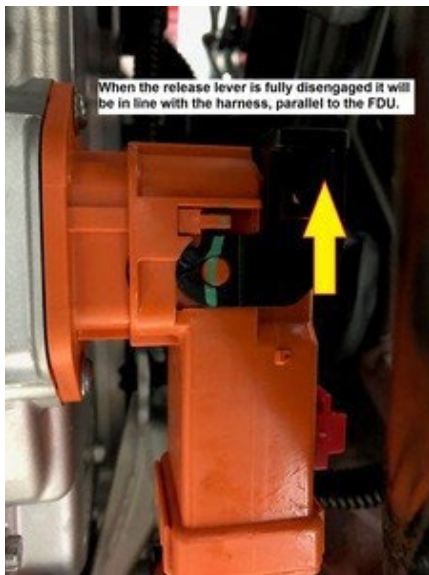


81. FDU HV ハーネスコネクタを外します。

**i 注**

ロックタブを解除し、解除レバーを上に戻してコネクタを外します。リリースレバーを無理に押し上げないでください。FDU ヘッダーのアライメントタブに傷がないことを確認してください。

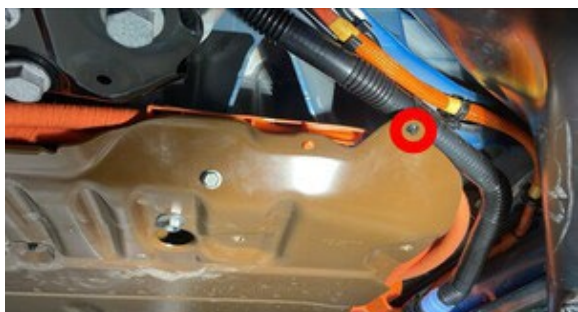




82. FDU から FDU HV ハーネスコネクタを取り外し、脇に置きます。



83. PT クーラントホースをフロント HV バッテリーバッシュプレートの LH 側に取り付けている クリップを外します。



84. コンプレッサーHVハーネスの接続をHVバッテリーから外す。



注

赤いロックタブを押し下げ、リリースレバーを外します。リリースレバーを無理に押し上げないでください。



85. コンプレッサーHVハーネスをHVバッテリー後部に取り付けているクリップ（x4）を外します。





86. クーラントドレン容器をHVバッテリーのLH後部の下 に置きます。

87. RDU インバータインレットホースを取り外します。

**i 注**

サブフレームとバッテリーの間のホースを回転させて車外に出す。

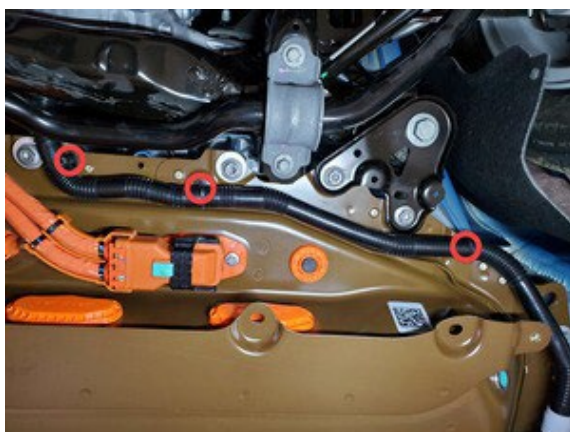


88. RDU オイルクーラーアウトレットパイプを取 り付けているクリップを外します。



注

2x スプリングクリップ、5x クリップ。ホースの接続部をプラグで塞ぐ。



89. RDU オイルクーラーアウトレットパイプを取り外します。

**i** 注

RDUの上で回転させ、サブフレームを後方に回します。



90. 車両下部からクーラントドレン容器を取り外す。

91. RDU HV ケーブルブラケットを RDU に取り付けられているボルトを取り外します。



92. から RDU HV ケーブルコネクタを外します。

**i** 注

ロックタブを解除し、解除レバーを上に戻してコネクタを外します。リリースレバーを無理に上げないでください。



93. RDU HV ケーブルを取り外します。



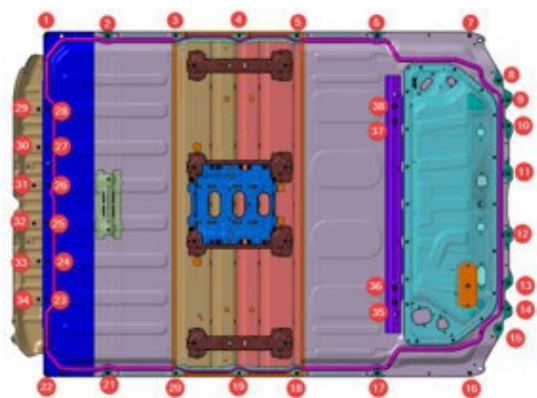
注

サブフレームとHVバッテリーの間にあるロジックケーブルハーネスの下にあるケーブルを回転させる。



94. LHとRHのシアプレート用の小さいボルト（x4）を取り外します。

**i** 注  
ボルト位置8-9と14-15。



95. LHシャーププレートとサブフレームをボディに取り付けている大きなボルトを緩め、シャーププレートを回転させてHVバッテリーから外します。

**i** 注  
シャーププレートが位置に来たら、ボルトを手で締める。



96. RHシャーププレートとサブフレームをボディに取り付けている大きなボルトを緩め、シャーププレートを回転させてHVバッテリーから外します。

**i** 注  
シャーププレートが所定の位置に来たら、ボルトを手で締める。



97. バッテリーテーブルを所定の位置に置き、車両を下げてバッテリーを支える。

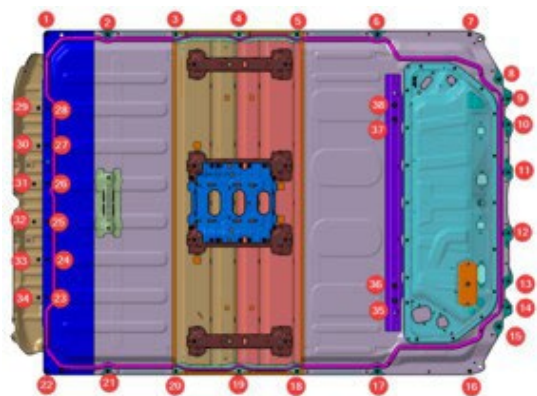
**i 注**

補助を勧める。フロントバッシュプレートに手が届き、リアHVケーブルに手が届くようにテーブルを並べる。テーブルの調整可能なキャスター・ジャッキを使用して、最終的なバッテリー・テーブルの位置を調整する。



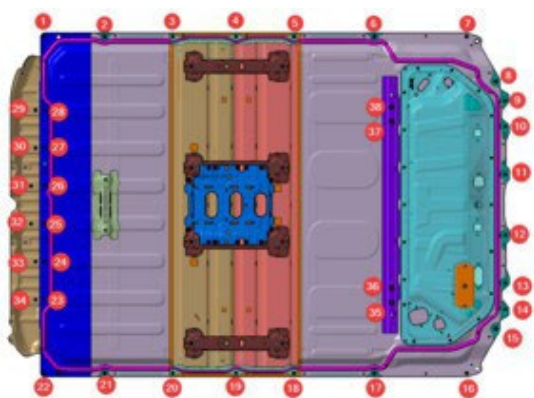
98. スキッドプレートカバーを介してHVバッテリーを取り付けているフロントボルト（x6）をラチェットで緩め、バッテリー駆動のドリルで取り外します。

**i** 注  
ボルト位置23から28。



99. スキッドプレートを車両に取り付けているボルト（6本）をラチェットで緩め、バッテリー駆動のドリルで取り外す。

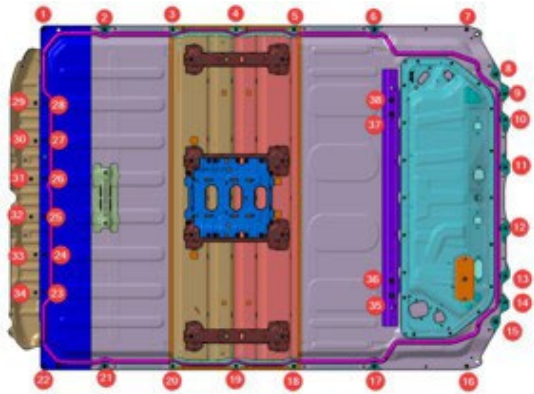
**i** 注  
ボルト位置29-34。



100. HVバッテリーの後部を車両に取り付けているボルト（×4）をラチェットで緩め、バッテリー駆動のドリルで取り外す。

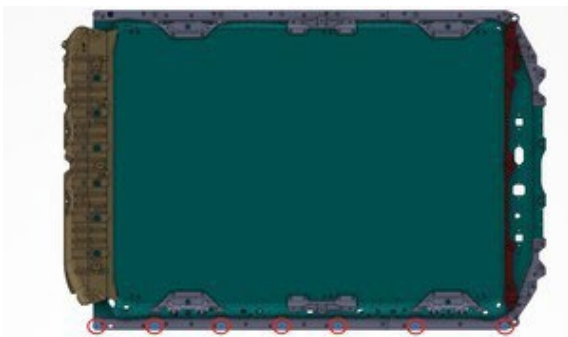
**i 注**  
ボルト位置10-13。

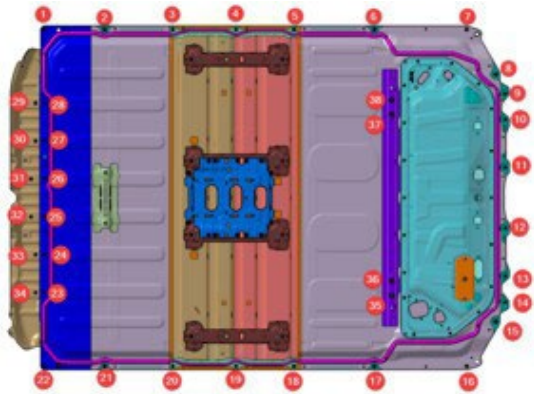




101. HVバッテリーを車両に取り付けているLHボルト（7本）をラチェットで緩め、バッテリー駆動のドリルで取り外します。

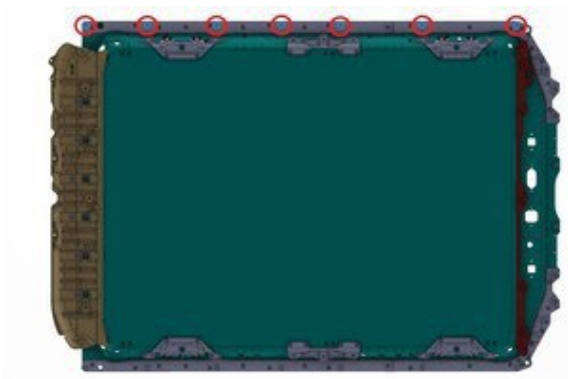
**i 注**  
ボルト位置16-22。

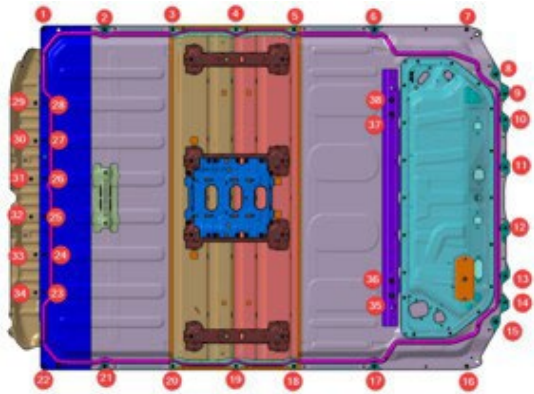




102. HVバッテリーを車両に取り付けているRHボルト（7本）をラチェットで緩め、バッテリー駆動のドリルで取り外す。

**i** 注  
ボルト位置1-7。





103. 車両を起こしてHVバッテリーから持ち上げる。

**i** 注  
援助を勧める。





104. 車両下部からバッテリーを取り外す。

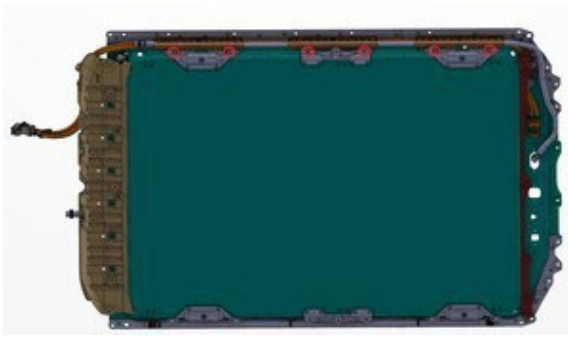
**i** 注  
援助を勧める。



105. FDU HVハーネスをバッテリーパックのバッシュプレートに取り付けているボルトを外します。

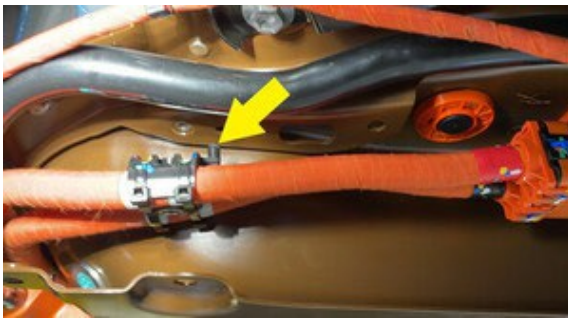


106. FDU HVハーネスブラケットをHVバッテリーのLH側に取り付けているボルト（x6）を取り外します。



107. FDU HVハーネスをHVバッテリー後部に取り付けているボルトを外す。





108. HV バッテリー後部から FDU HV ケーブルを外します。

**i** 注

ロックタブを解除し、レバーを上に戻してコネクタを外します。リリースレバーを無理に押し上げないでください。





109. HVバッテリーの後部からPT供給チューブを外します。

**i** 注

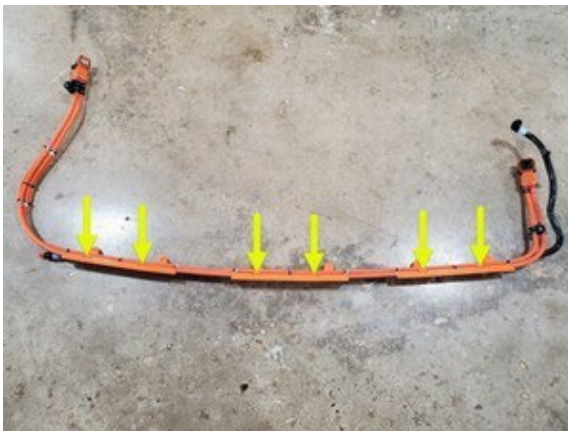
1x スプリングクリップ、1x クリップ。必要に応じて、ホースの接続をプラグします。



110. FDU HV ケーブルと PT 供給チューブアセンブリを HV バッテリーから取り外します。

**i** 注

6x タブ。ブラケットウィンドウを使って、タブをバッテリーパックから外します。補助を推奨する。



111. HVバッテリーからフロント左マニホールドバッテリー供給チューブを取り外します。

**i** 注

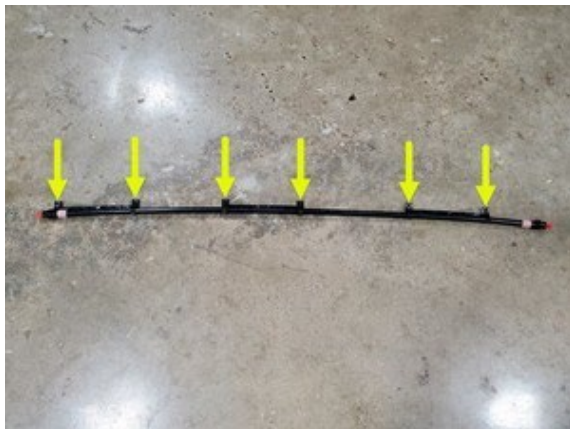
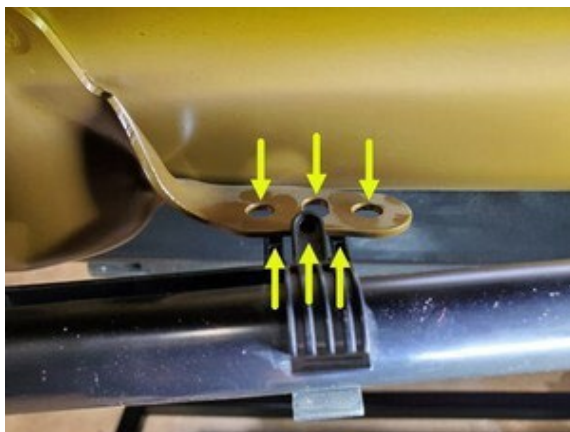
1x スプリングクリップ、3x クリップ。必要であれば、ショップ・タオルで残留クーラントを拭き取ります。必要に応じてホースの接続部をふさぐ。



112. HVバッテリーパックの右側からPTリターン チューブを取り外します。

**i** 注

6xクランプ、6xブラケット。各クランプには3xのデータムがあり、3xのブラケット穴からリリースする必要がある。



113. HVバッテリーのHフレームをガントリーに取り付け、所定の位置まで持ち上げます。

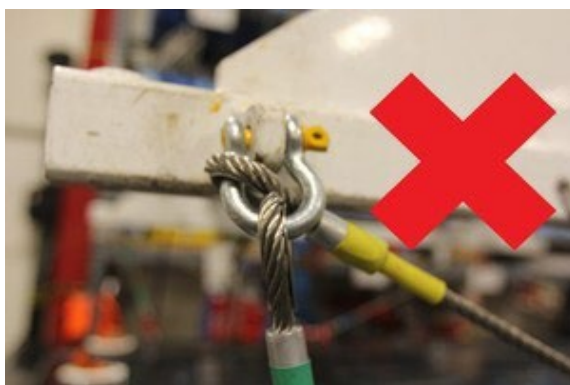


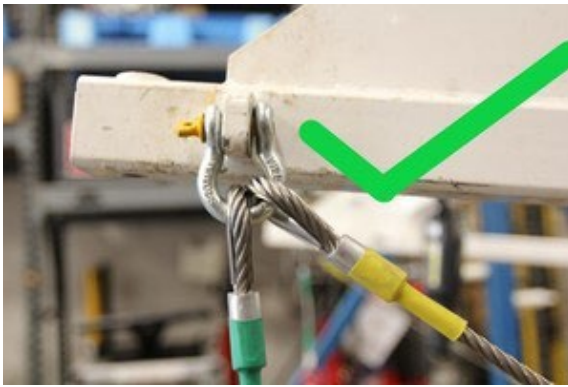


114. P2スリングアダプターをHフレームに取り付ける。

**i** 注

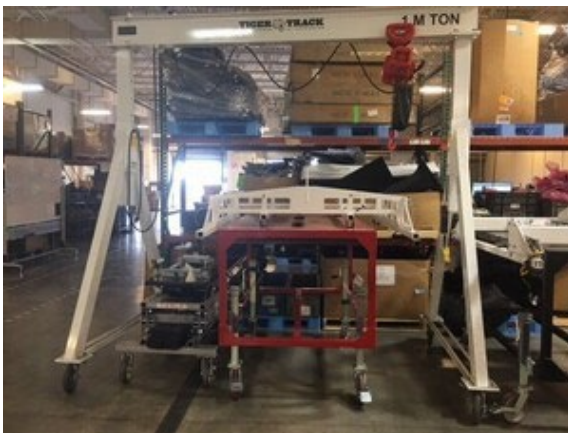
4xアンカーフック。フックを取り付ける。アンカー・フックが完全に締め付けられ、固定されていることを確認してください。アダプター・スリングがねじれるような方法でアンカー・フック





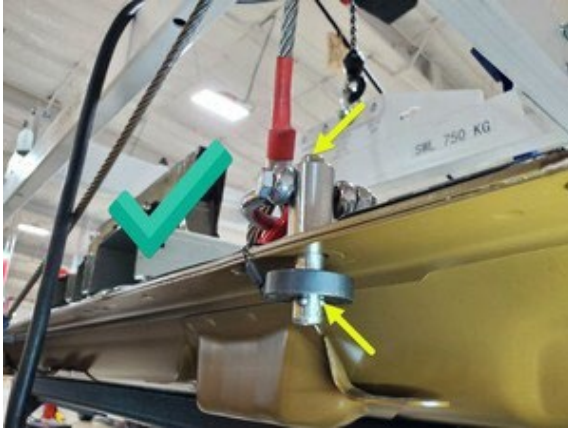
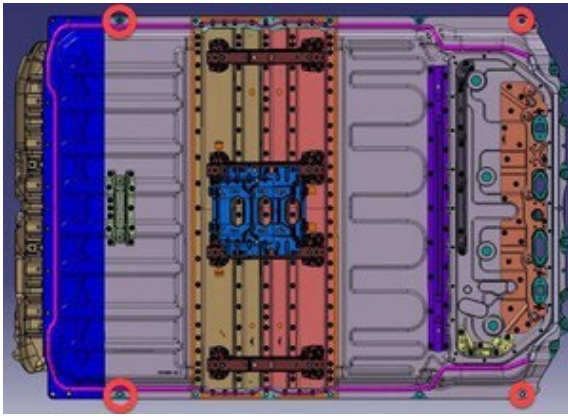
115. HVバッテリーをガントリーの下に配置する。

**i** 注  
援助を勧める。



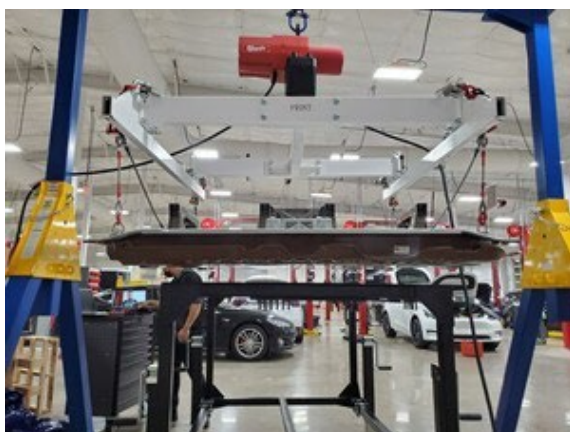
116. P2スリングアダプターをHVバッテリーパックに取り付けます。

**i** 注  
4x ロッキングジョイント。ホイストは色分けされており、説明書が付属しています。ロッキングジョイントが完全に取り付けられていることを確認してください。押し引きテストを行ってください。適切に固定されていない場合、トップピンが凹みます。適切かつ安全に固定するよう注



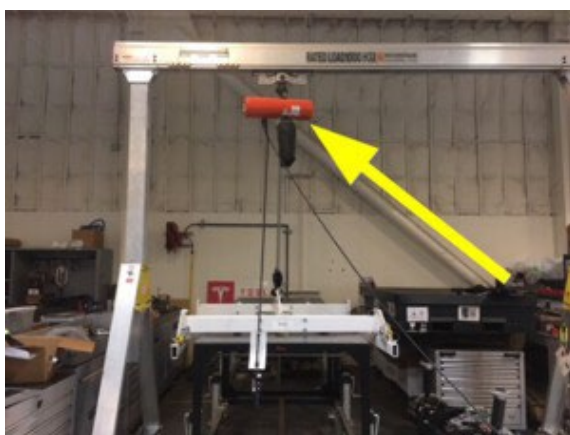


117. HVバッテリーパックをバッテリーテーブルから持ち上げます。



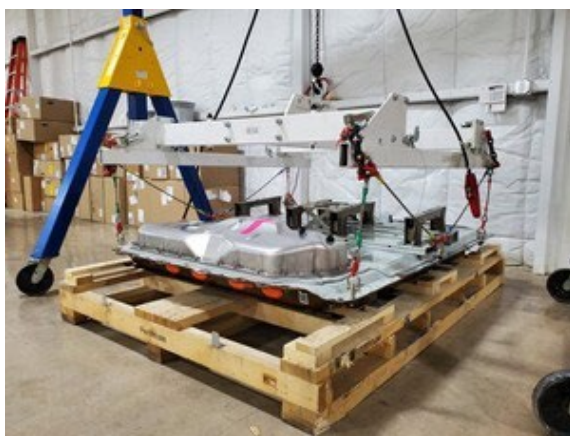
118. ガントリーをパレットの上に置きます。

**i** 注  
援助を勧める。





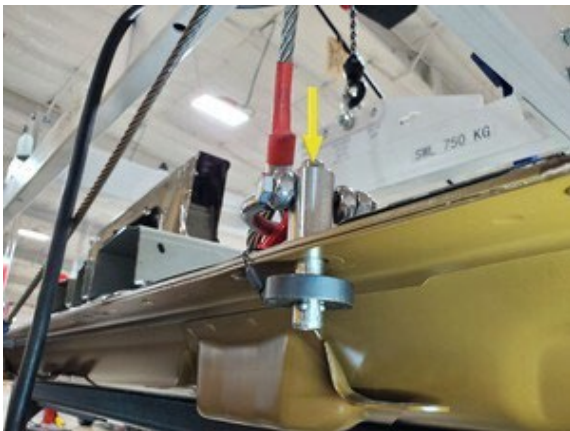
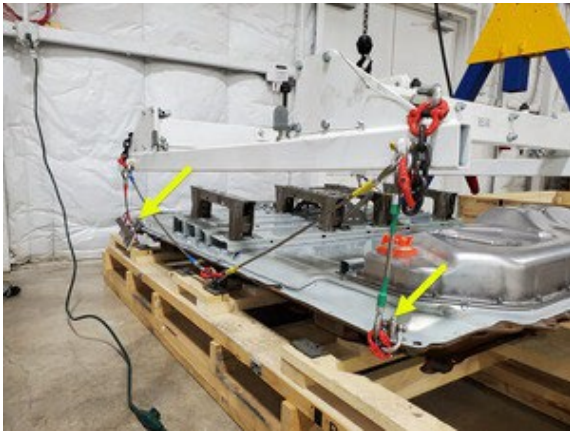
119. HVバッテリーパックをパレットに下ろす。

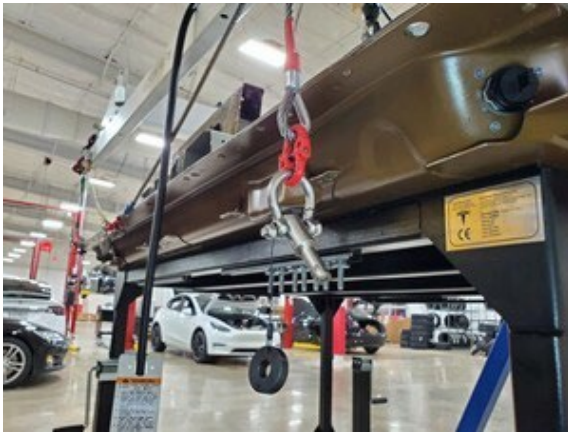


120. P2バッテリーリングアダプターをHVバッテリーパックから外します。

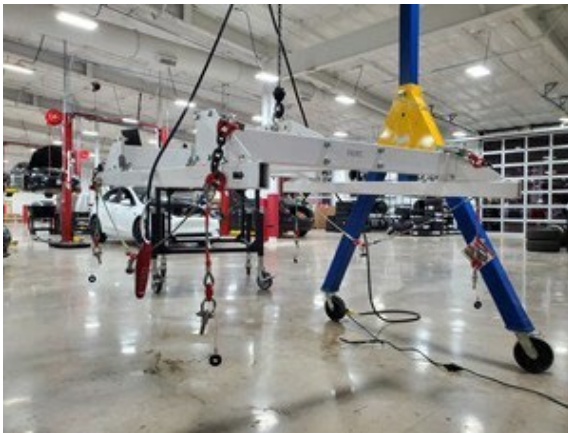
**i** 注

4x ロッキングジョイント。トップピンを押し下げると外れる。

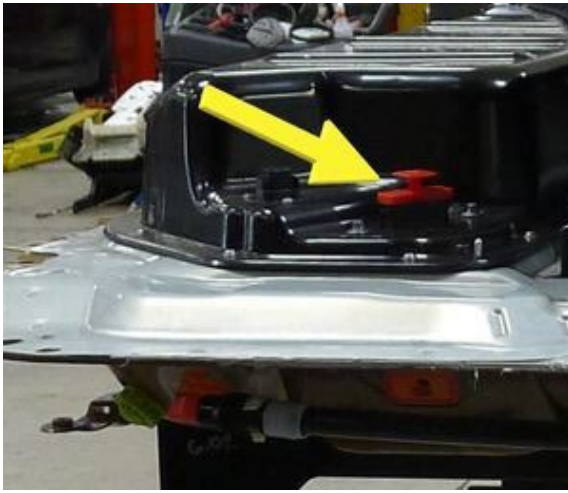




121. 古いHVバッテリーパックからガントリーとHフレームを起こす。



122. 古いHVバッテリーロジックキャップを外す。



## インストール

### 注

フロント・アンダー・ボディ（FUB）またはリア・アンダー・ボディ（RUB）の鋳物のねじ山が損傷している場合は、[TN-15-92-001「ヘリコイル・インサートの取り付け」](#)を参照し、ヘリコイル・インサートを併用して修理してください。

### 注意

FUBまたはRUBのねじ山を修理する場合は、TPN 1056157-09-Aを使用したヘリ・コイル・インサートの併用してください。

### 注

糸修理がされた場合、サービス・ビジットに別個のアクティビティとして修正コード**70060005**「糸修理追加してください」。

1. 新しいHVバッテリーパックが入っている木箱の上蓋を開ける。

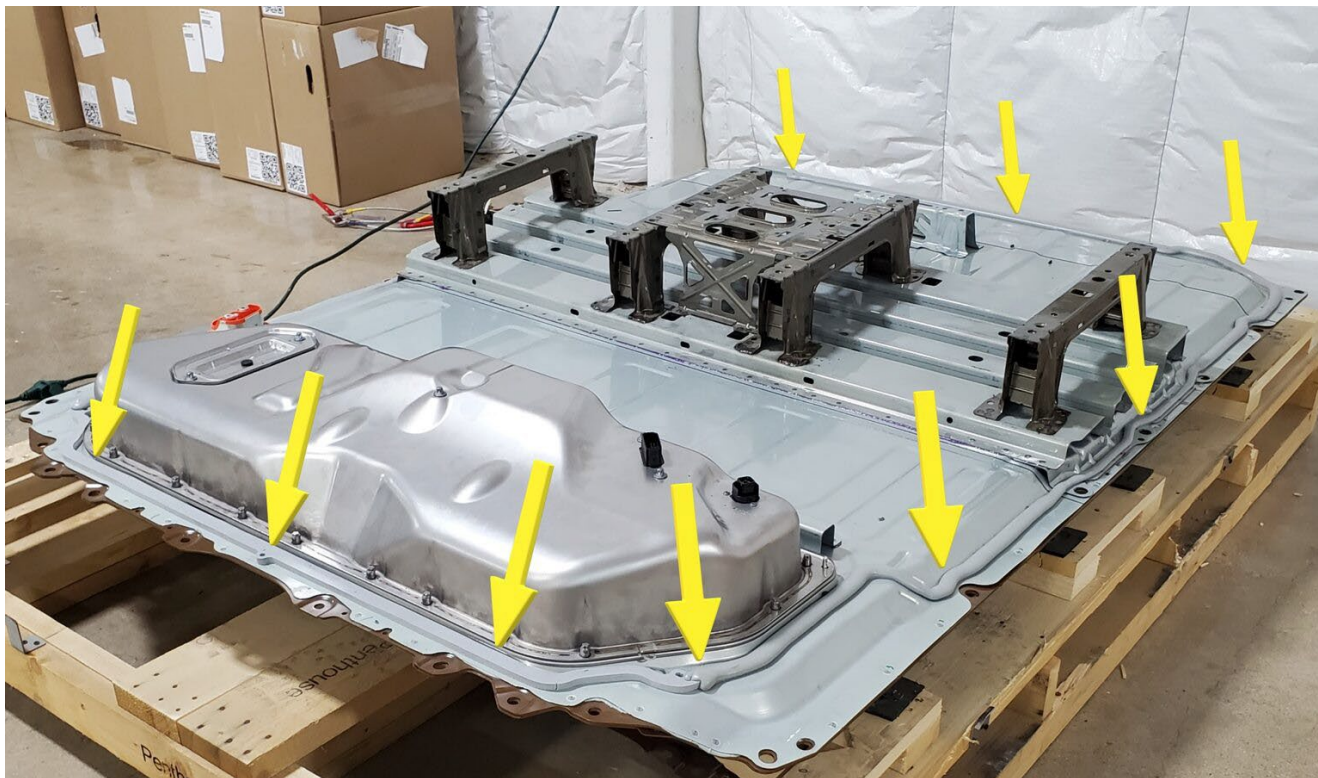
### 注

一部の交換用HVバッテリーパックはプラスチックパレットで出荷されることがあります。これは一時的なもので、現在改善中です。

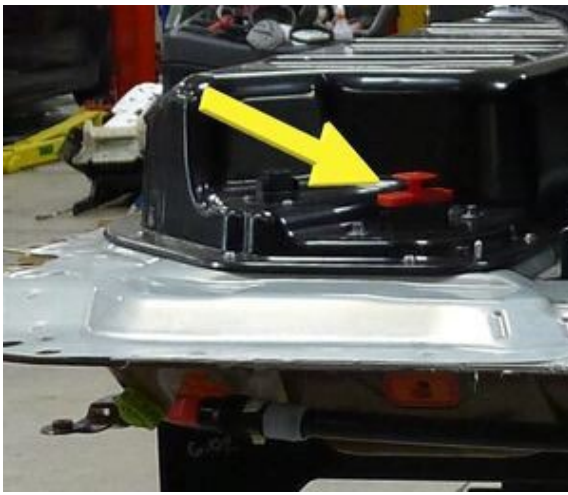


2. 取り付け前に、HVバッテリーのウェイドシールを点検し、清掃してください。ウェードシールが損傷している場合は、シールを再加工または交換してください。

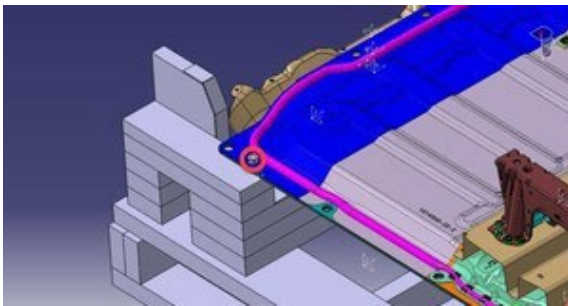
- 損傷が 25 mm 未満の場合は、ウェイドシールを再加工してください。ウェイドシール-HVバッテリー（構造用パック）（手直し）」を参照してください。
- 損傷が25 mmを超える場合は、ウェードシールを 交換してください。ウェイドシール-HV バッテリー（構造体パック）（取外しおよび交換）を参照してください。
- 損傷がなければ、シールを水で洗浄し、表面を完全に乾燥させる。



3. 新しいHVバッテリーロジックキャップを取り付けます。



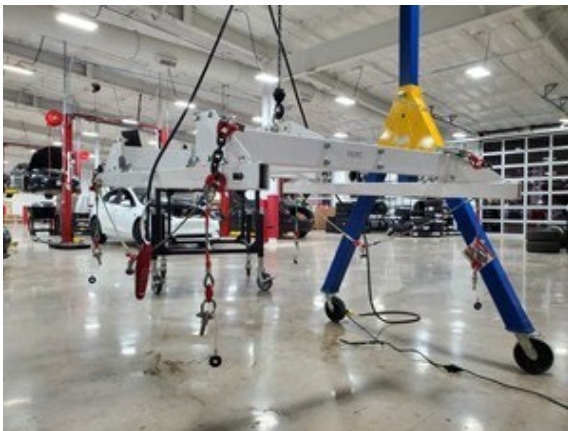
4. 新しい HV バッテリーパックを木枠 / パレットに取り付けている留め具を取り外します。

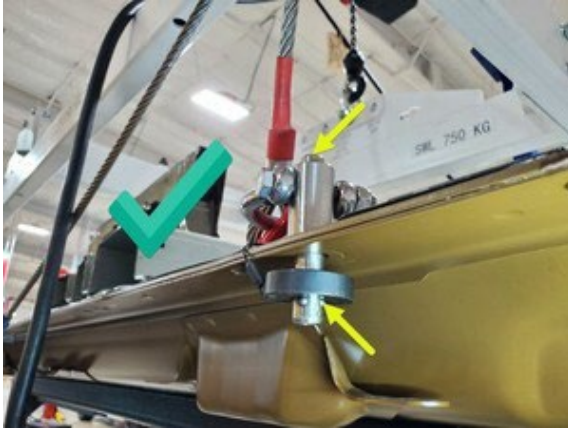
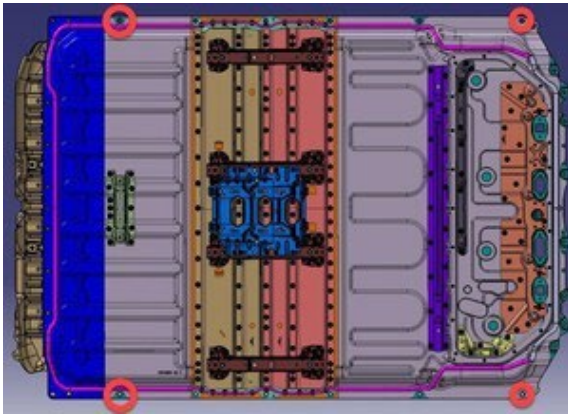


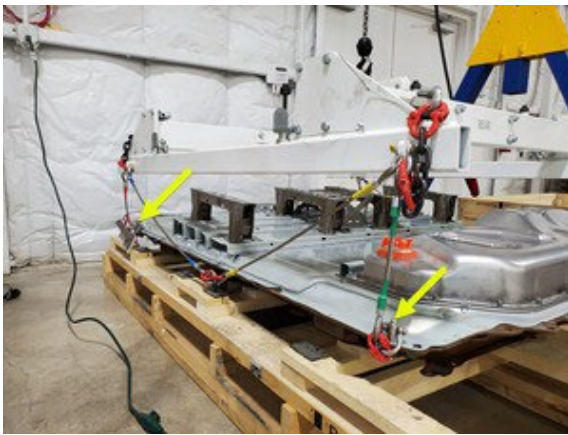
5. ガントリーとHフレームをクレート / パレットの上に置き、P2スリングアダプターを新しいHVバッテリーパックに取り付けます。

**i 注**

4x ロック・ジョイント、ホイストは色分けされており、説明書が付属しています。ロックジョイントが完全に固定されていることを確認してください。中間ジョイントは固定しないでください。押し引きテストを行ってください。適切にされていないと、トップピンが凹んでし







**i 注**

プラスチックパレットの設計上、後部の2つの吊り上げ穴にロッキングジョイントを簡単に挿入することができません。アシスタントに手伝ってもらいながら、HVバッテリーのフランジの下にこじ開け棒を挿入し、持ち上げ穴でパレットを圧縮して、ロッキングジョイントを固定するスペースを作ります。プラスチック・パレットの損傷は許容範囲内です。



図1.プラスチック・パレットを圧縮して、ロッキング・ジョイントをスペースを作る。

**! 注意**

HVバッテリーは必ず最後部の吊り上げ穴で吊り上げてください。後部の穴ではなく中央の穴を使用すると、スリングに過度の負担がかかり、バックが安全に傾きません。



図 2.HVバッテリーに不適切に取り付けられた吊り具は危険です。

6. 新しいHVバッテリーパックをパレットから上げる。

**i** 注  
援助を勧める。

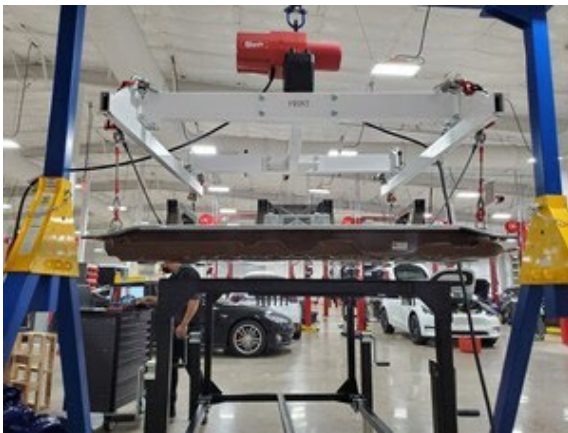


7. 新しいHVバッテリーの前面と背面にあるHVヘッダーとクーラントポートのキャップをすべて、返送用の古いHVバッテリーに移します。

**i** 注  
古いHVバッテリーにキャップを取り付けることができない場合は、輸送箱にキャップを同梱してください。

8. ガントリーをクレートから離し、HVバッテリーテーブルを所定の位置に置く。

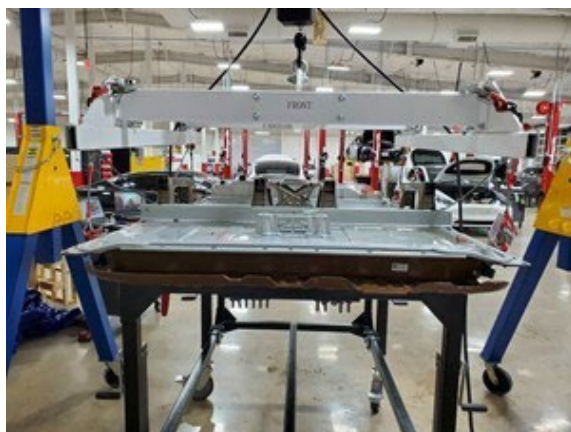
**i** 注  
援助を勧める。



9. HVバッテリーパックをバッテリーテーブルの上を下ろす。

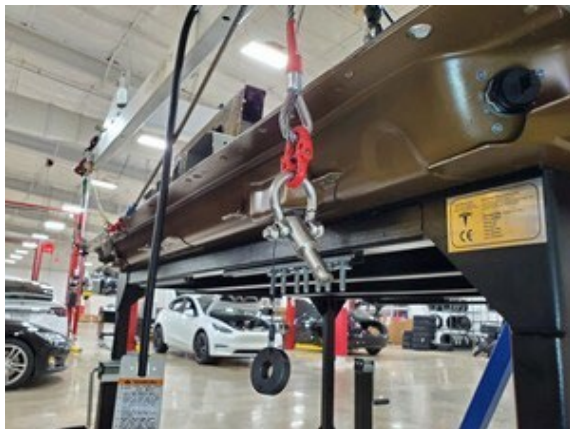
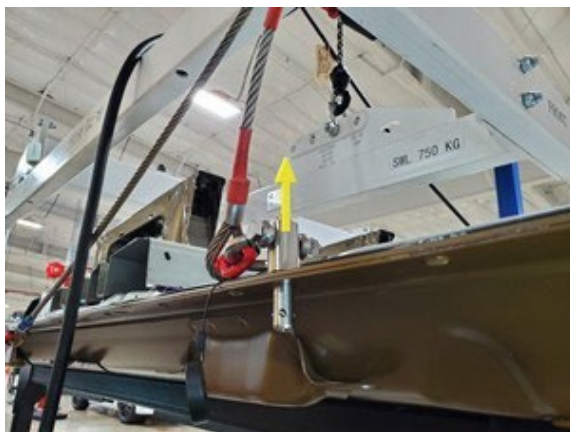
**i** 注  
補助を推奨する。バッテリーパックをテーブルの上に置き、ボディーに固定するすべてのボルト穴にアクセスできるようにしてください。





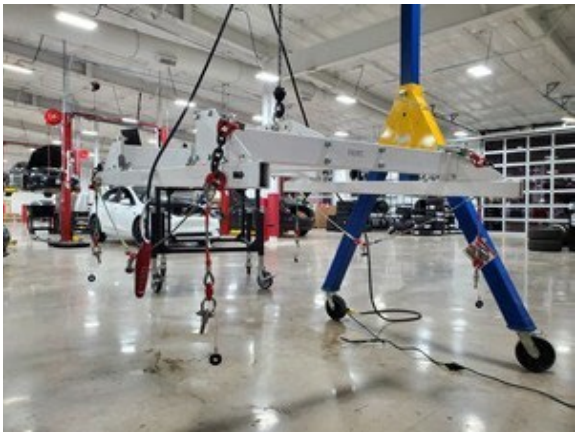
10. HVバッテリーパックからP2スリングアダプターを外します。





11. HVバッテリーパックをガントリーの下から取り外します。

**i** 注  
援助を勧める。



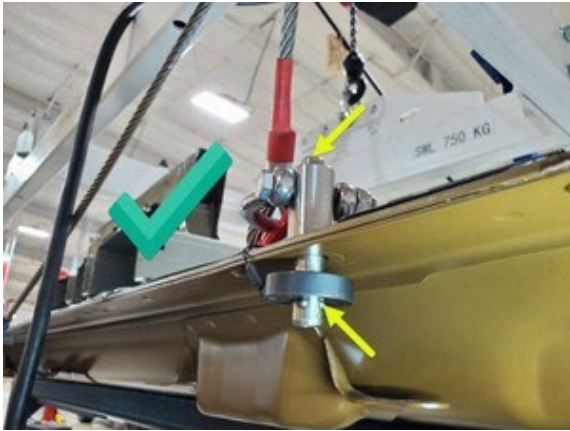
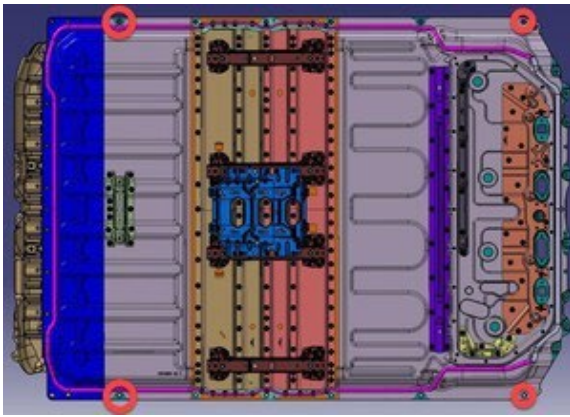
12. 古いHVバッテリーパックの上にガントリーを配置する。

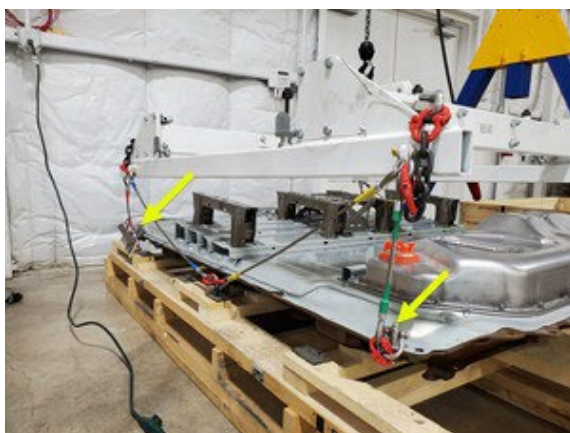
**i** 注  
援助を勧める。



13. ガントリーとHフレームを下ろし、P2スリングアダプターを古いHVバッテリーパックに固定します。

**i** 注  
4x ロッキングジョイント。ホイストは色分けされており、説明書が付属しています。ロッキング・ジョイントが完全に固定されていることを確認してください。中間ジョイントは固定しないでください。押し引きテストを行ってください。適切に固定されていないと、トップピンが凹ん





14. 古いHVバッテリーパックを木箱 / パレットの高さより上に上げる。



注

一部の古いパックがプラスチックパレットで **MRB** に返却される可能性がある。これは一時的なもので、現在改善中である。

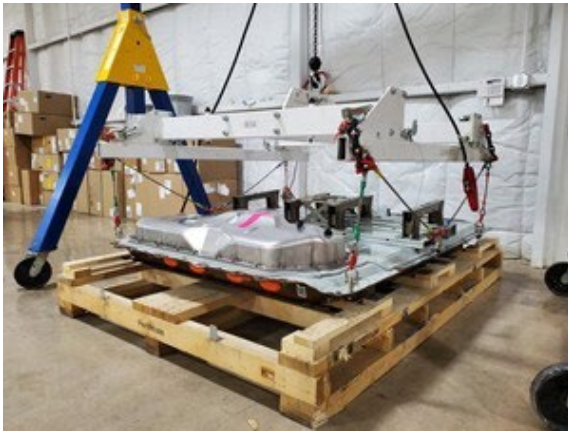


15. 木箱/パレットを古いHVバッテリーパックの下に置く。



16. 古いHVバッテリーパックを木枠 / パレットに下ろす。

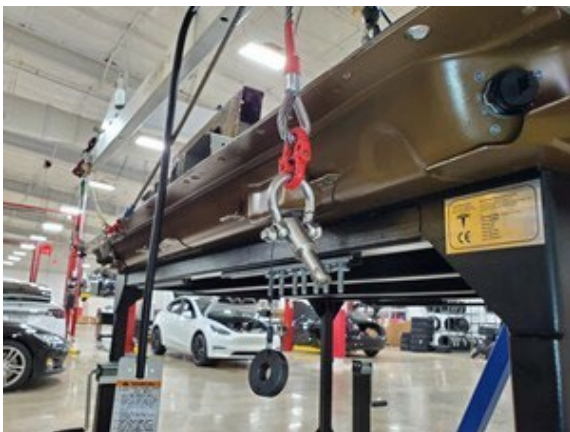
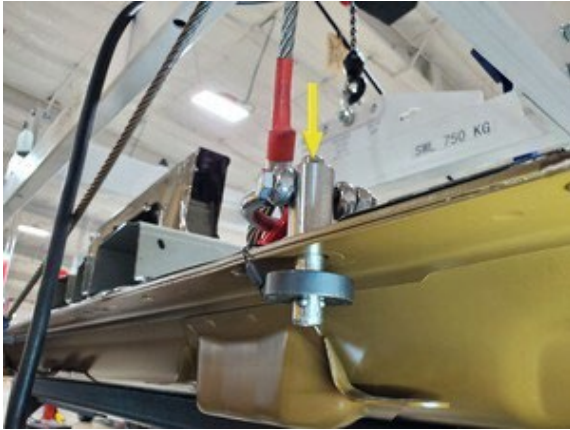
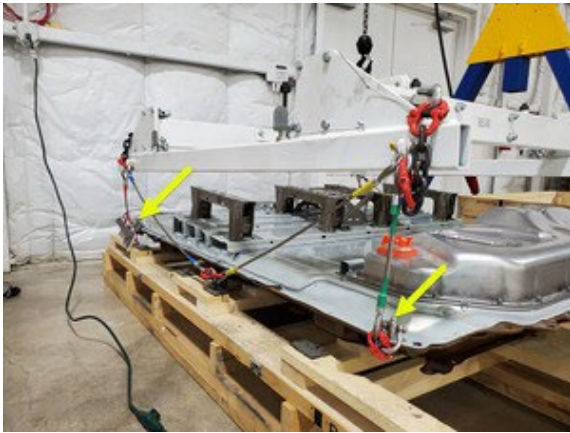
**i** 注  
援助を勧める。



17. HVバッテリーパックからP2スリングアダプターを外します。

**i** 注  
4x ロッキングジョイント。トップピンを押し下げると外れる。





**i 注**

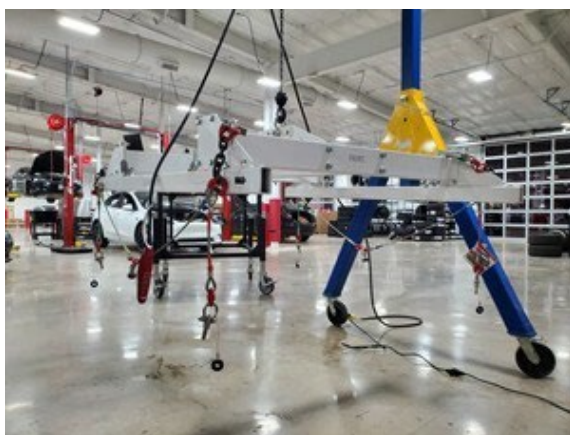
アシスタントの助けを借りて、HV バッテリーのフランジの下にこじ棒を挿入し、持ち上げ穴でパレットを圧縮し、ロックジョイントを解放するスペースを作ります。プラスチックパレットの損傷は許容範囲内です。



図3.プラスチック・パレットを圧縮し、ロッキング・ジョイントを外すスペースを作る。

18. 古いHVバッテリーパックからガントリーとHフレームを起こす。





19. ガントリーを下げ、HVバッテリーのHフレームをガントリーから取り外します。



20. HV バッテリーパックを木枠 / パレットに取り付けるファスナーを手でしっかりと取り付けます。

21. 古いHVバッテリーパックが入っている箱の上部のハウジングを閉じます。

**i** 注  
援助を勧める。

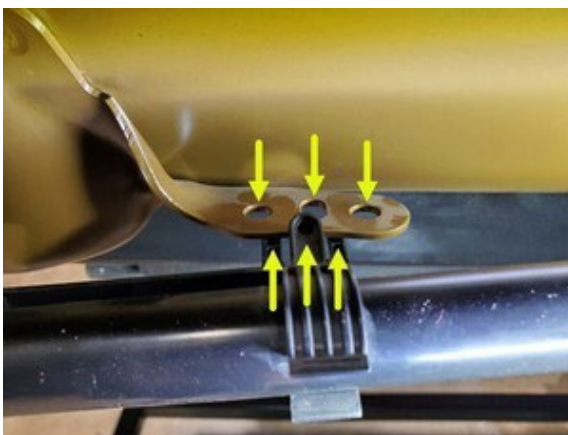
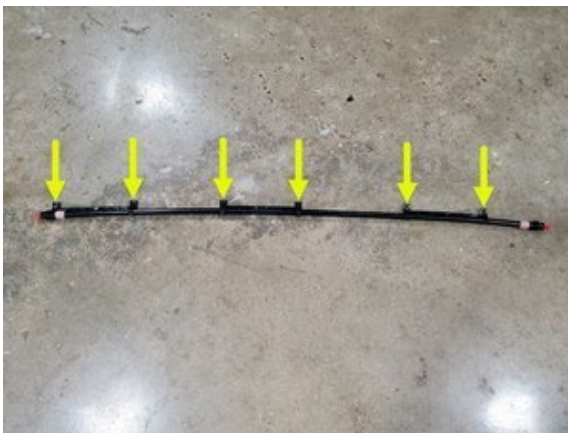




22. PTリターンチューブをHVバッテリーパックのRH側に取り付けます。

**i 注**

クランプ6個、ブラケット6個。各クランプには3個のデータームがあり、3個のブラケット穴に固定する必要がある。





23. フロント左マニホールドバッテリー供給チューブをHVバッテリーパックに取り付けます。



注

1x スプリングクリップ、3x クリップ。必要に応じてプラグを取り外す。



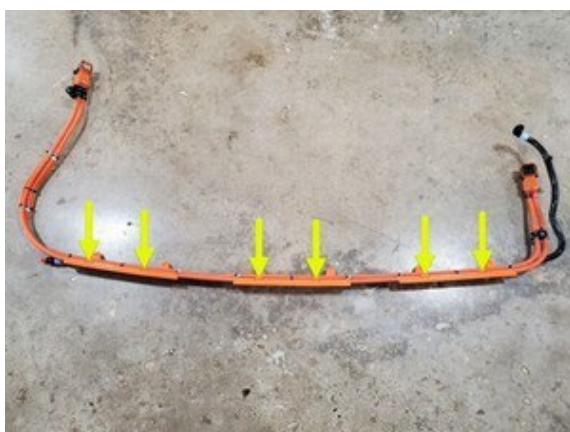


24. FDU HV ケーブルと PT 供給チューブアセンブリをバッテリーパックに取り付けます。



注

6xタブ。ブラケットウィンドウを使ってタブをバッテリーパックに固定します。補助を推奨する。





25. HVバッテリーパックの背面にPT供給チューブを取り付ける。

**i 注**

1x スプリングクリップ、1x クリップ。必要に応じてプラグを取り外す。



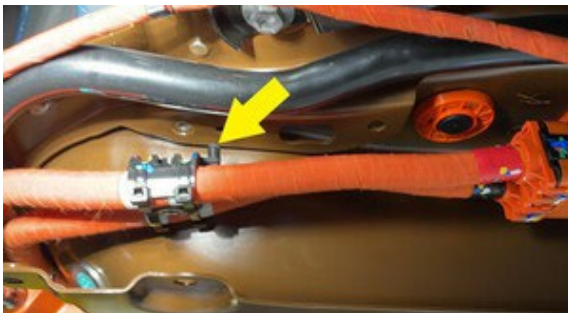
26. FDU HV ケーブルをバッテリーパックの背面に接続します。

**i 注**

レバーが直立し、開いた位置にあることを確認する。コネクタを慎重に固定し、レバーがかみ合うようにします。レバーを完全に固定し、赤いタブがロックされていることを確認します。ピンを傷つけないでください。

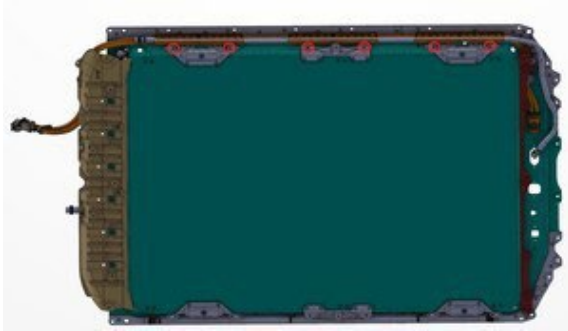


27. FDU HVハーネスをバッテリーパック後部に取り付けるボルトを取り付けます（トルク6Nm）。





28. FDU HVハーネスブラケットをバッテリーパックのLH側に取り付けるボルト（x6）を取り付けます（トルク6 Nm）。



29. FDU HVハーネスをバッテリーパック前面に取り付けるボルトを取り付けます（トルク6Nm）。



30. HVバッテリー・ウェードシール・インターフェースのボディ側を点検し、清掃する。

**i** 注

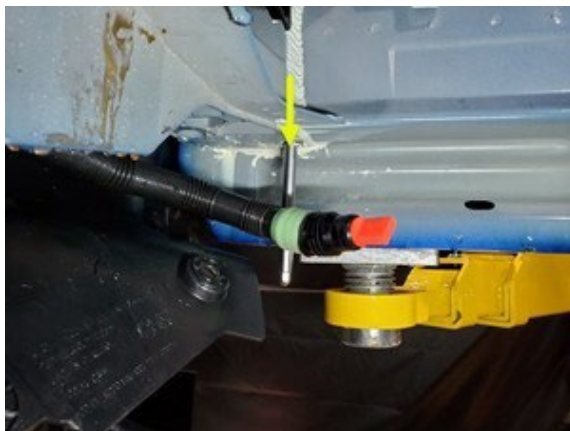
水で洗浄し、表面を完全に乾燥させる。



31. HVバッテリーのアライメントロッド（x2）をボディに取り付けます。

**i 注**

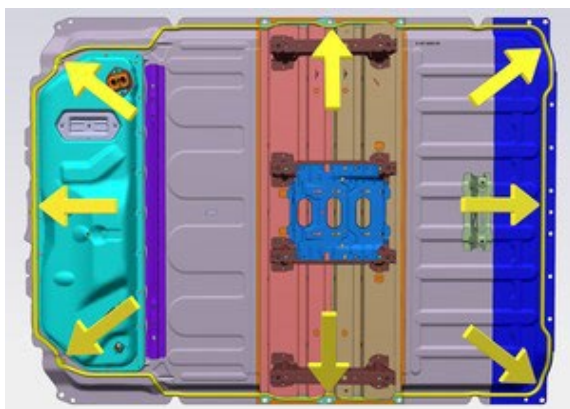
小さいロッドのみを使用する。RHの一番前とLHの一番後ろのサイドの通す。



**32.** 取り付け前にバッテリーのウェードシールを点検し、清掃してください。

**i 注**

水で洗浄し、表面を完全に乾燥させる。





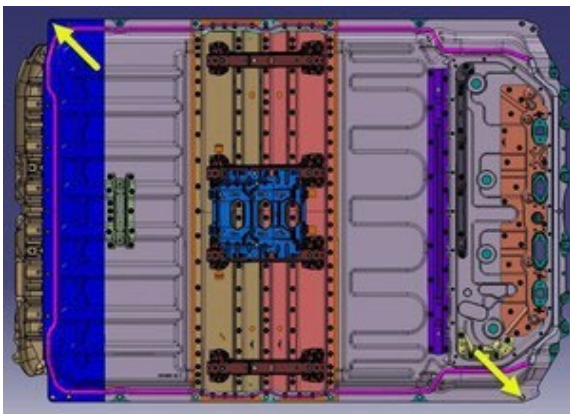
33. HVバッテリーパックを車両の下に置きます。

**i** 注  
援助を勧める。



34. 車両をHVバッテリーパックに降ろし、HVバッテリーの穴をアライメントロッドに合わせます。

**i** 注  
補助を推奨する。クーラントホースやハーネスが挟まれていないことを確認する。





35. バッテリーとボディの位置が合ったら、HVバッテリーのアライメントロッドをボディから取り外します。



36. HVバッテリーを車両に取り付けるすべてのボルトを手でねじ込む。

**i** 注

34xボルト。トップボルトを含む。シアプレートボルト（3-9、14-15）はねじ込まないでください。ネジ山がスムーズにかみ合い、ボルトが鋳物に交差してねじ込まれていないことを確認してください。

**i** 注

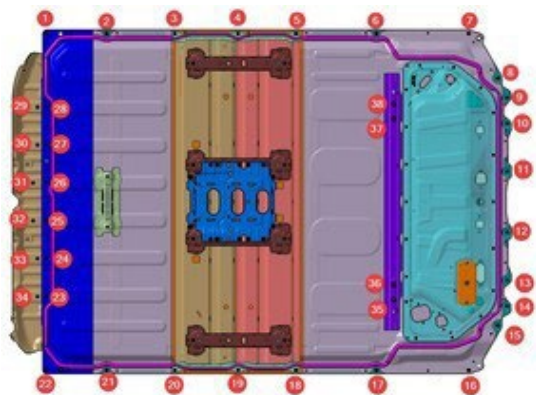
フロント・アンダー・ボディ（FUB）またはリア・アンダー・ボディ（RUB）の鋳物のねじ山が損傷している場合は、TN-15-92-001「ヘリコイル・インサートの取り付け」を参照し、ヘリコイル・インサートを使用して修理してください。

**!** 注意

FUBまたはRUBのネジ山を修理する場合は、TPN 1056157-09- Aのヘリ・コイル・インサートのみを使用してください。

**i** 注

糸修理がされた場合、サービス・ビジットに別個のアクティビティとして修正コード70060005「糸修理追加してください」。



37. 車両をパックの上に完全に下ろす。

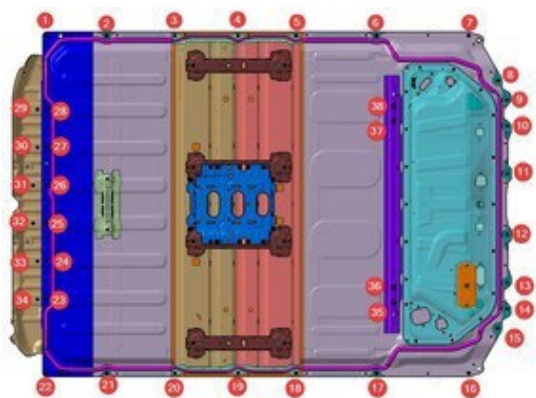
**i** 注

援助を勧める。

38. HVバッテリーを車両に固定しているすべてのボルトをバッテリー駆動のドリルで座ります。

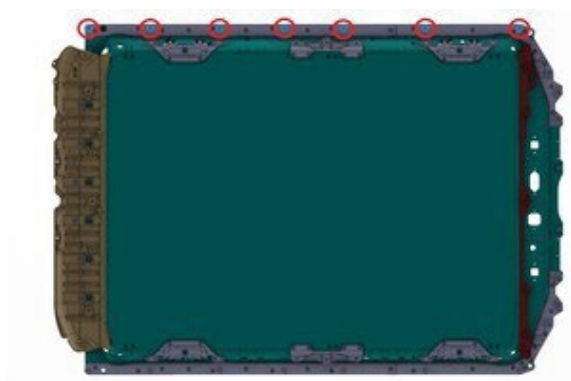
**i** 注

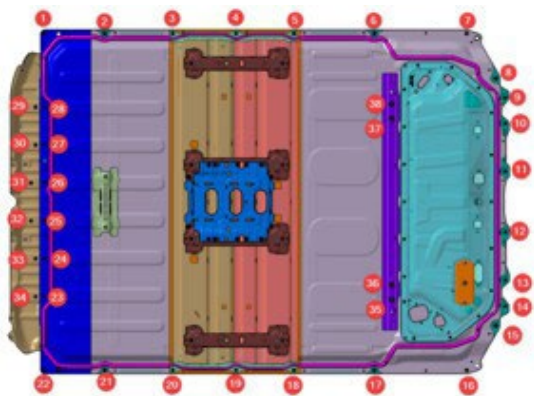
34xボルト。トップボルトを含む。シアプレートボルト (3-9、14-15) を固定しないでください。ボルトがスムーズに噛み合い、鋳物に交差してねじ込まれていないことを確認します。ボルトを締めすぎないこと。ボルトを締め過ぎないでください。



39. HVバッテリーを車両に取り付けるLHボルト (x7) にトルクを十分にかけます (トルク 56 Nm)。

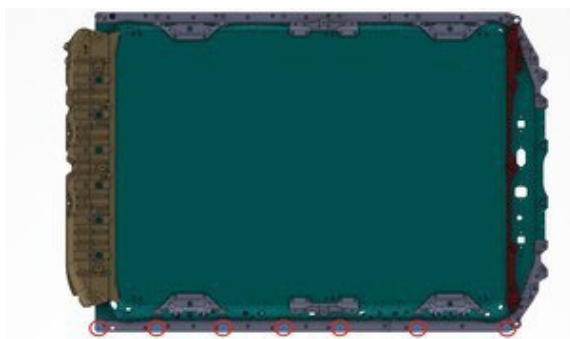
**i** 注  
ボルト位置1-7。

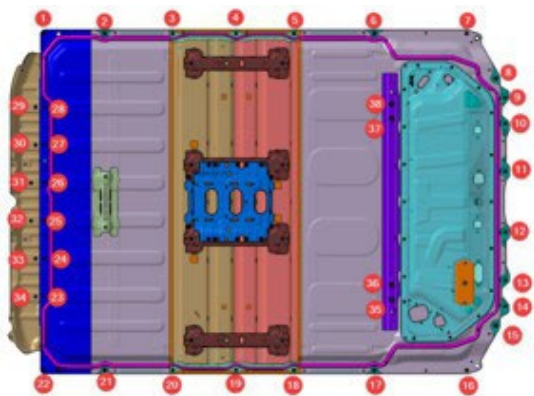




40. HVバッテリーを車両にRHボルト（x7）にトルクを十分にかけます（トルク56Nm）。

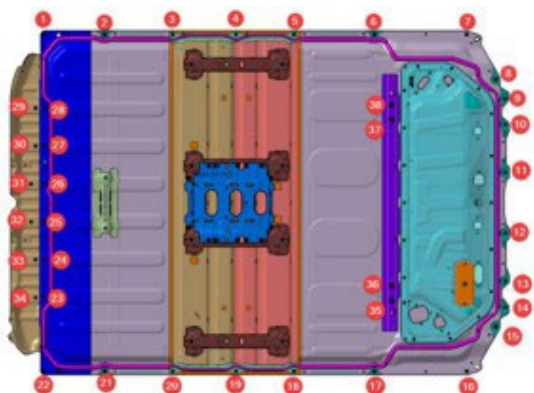
**i** 注  
ボルト位置16-22。





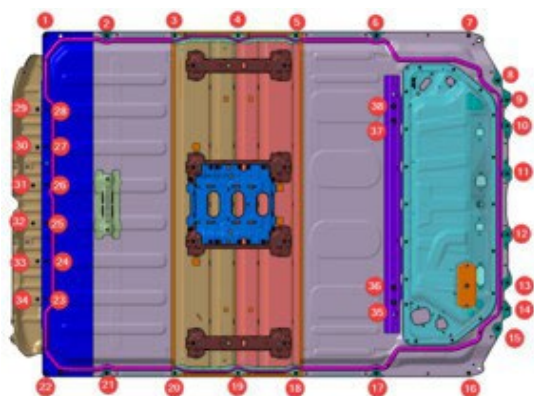
41. バッシュプレートの開口部からHVバッテリーを取り付けるフロントボルト (x6) にトルクを十分にかけます (トルク90 Nm)。

**i 注**  
ボルト位置23から28。



42. バッシュプレートを車両に取り付けるフロントボルト (x6) にトルクを十分にかけます (トルク 62Nm)。

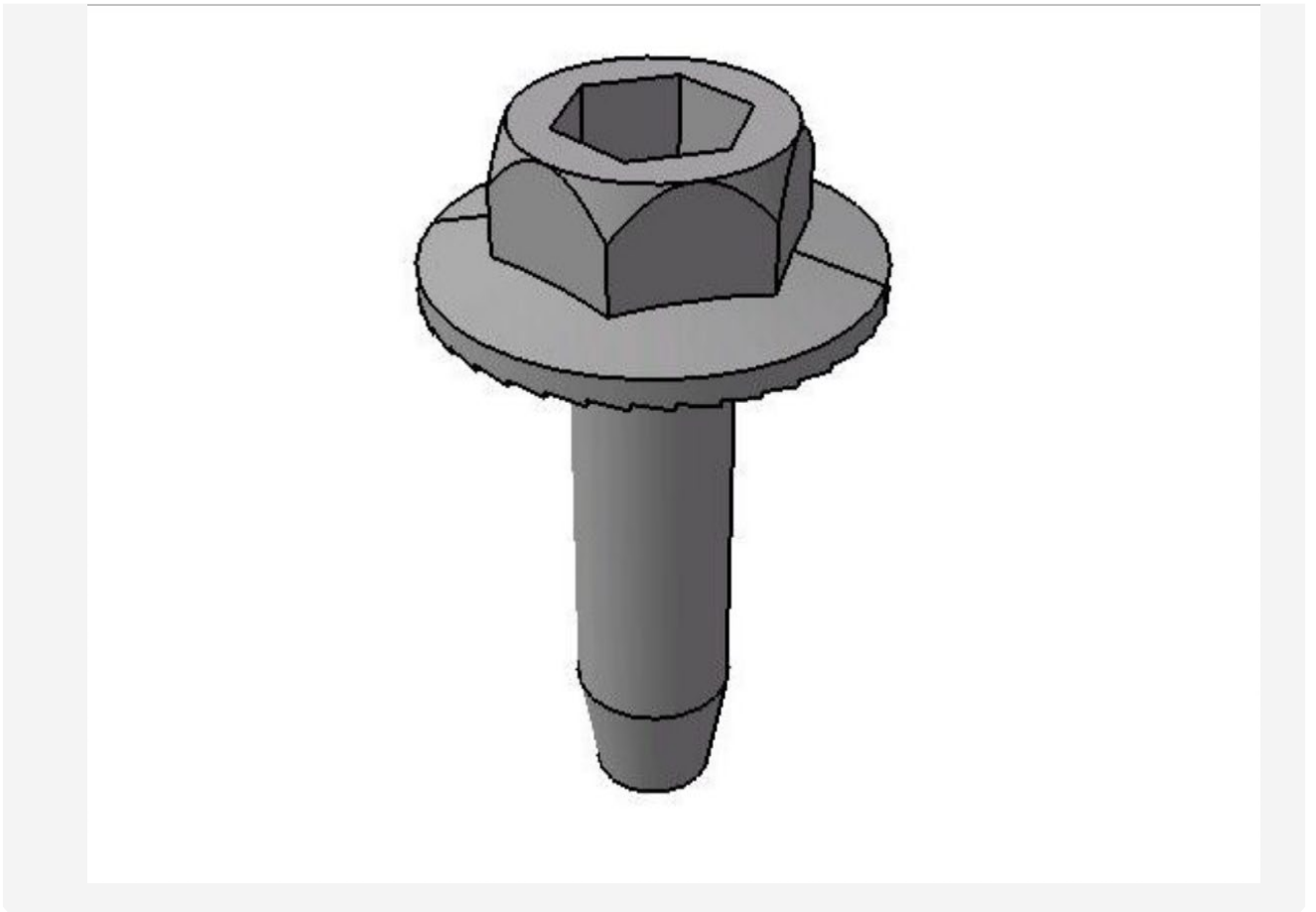
**i** 注  
ボルト位置29-34。

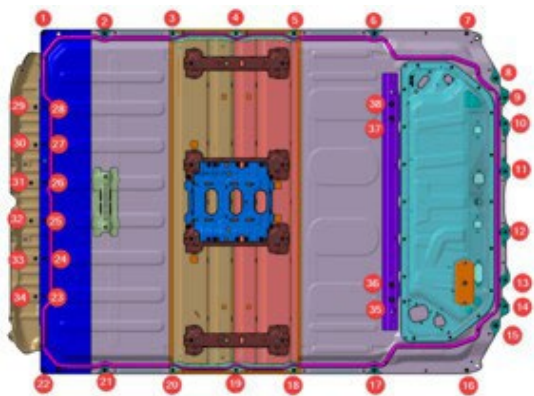


43. HVバッテリーを車両に取り付けるリアボルト（x4）にトルクを十分にかけます（トルク62Nm）。

**i** 注  
ボルト位置10-13。

**i** 注  
一部の車両には、工場出荷時からセルフタッピングボルトが装着されています。ボルト頭部に六角のくぼみがあるボルト（1637725-00-A）が装着されている車両の場合、トルク値は64N・mとなります。





44. RH リアサブフレームボルトを緩め、RH リアシ アプレートと HV バッテリーの位置を合わせます。

**i 注**

シアプレートが所定の位置に来たら、ボルトを手で締める。

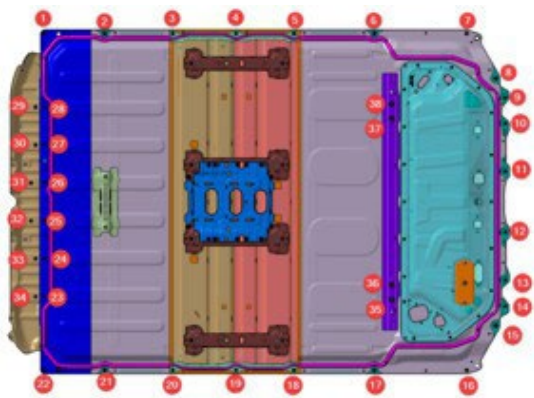


45. RHシアプレートをHVバッテリーに取り付けているボルト（x2）を手で締め付けるように取り付けます。

**i 注**

ボルト位置8-9、トルクは後のステップで。





46. サブフレームとRHリアシャープレートをボディに取り付けているボルトにトルクをかける（トルク130Nm）。

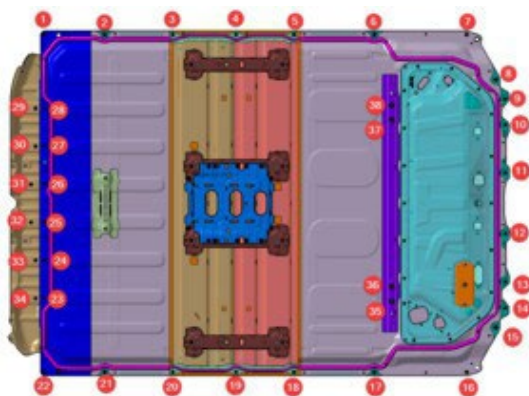
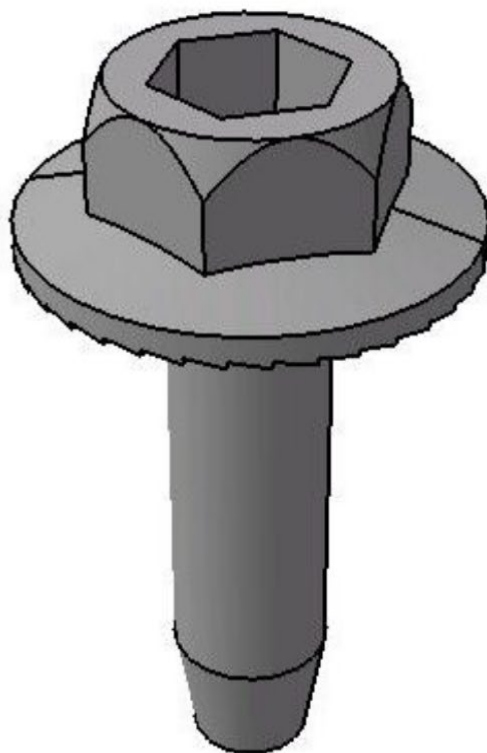


47. RHリア・シャー・プレートをボディに取り付けている小さなボルト（x2）にトルクを与えます（トルク62 Nm）。

**i** 注  
ボルト位置8-9。

**i** 注  
車両によっては、工場出荷時にセルフタッピングボルトが装着されている場合があります。ボルト頭部に六角のくぼみがあるボルト（1637725-00-A）が装着されている車両の場合、トルク値は64N・mとなります。





48. LHリアサブフレームボルトを緩め、LHリ アシアプレートとHVバッテリーの位置を合わせ ます。

 注

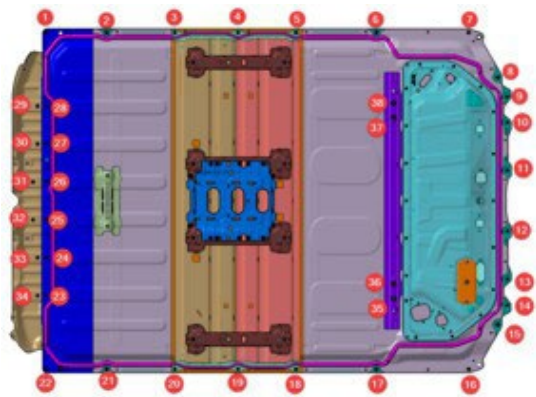
シャーププレートが位置に来たら、ボルトを手で締める。



49. LHリア・シャープ・プレートをボディに取り付けるボルト (x2) を手で締め付けるように取り付けます。

**i** 注

ボルト位置14-15。トルクは後で調整する。



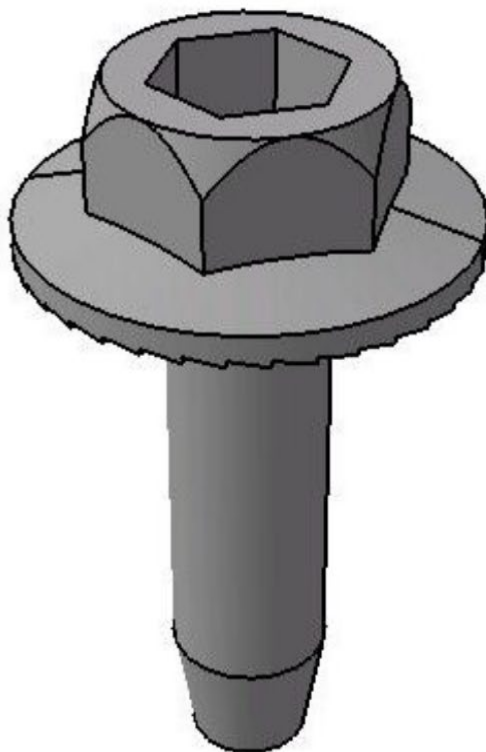
50. サブフレームとLHリアシャーププレートをボディに取り付けているボルトにトルクをかける（トルク130Nm）。

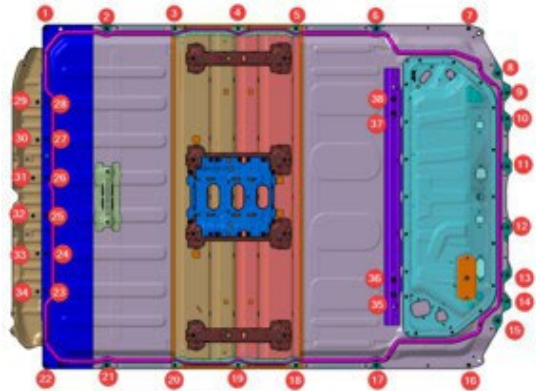


51. LHリア・シャー・プレートをボディに取り付けている小さなボルト（x2）にトルクを与えます（トルク62 Nm）。

**i** 注  
ボルト位置14-15。

**i** 注  
車両によっては、工場出荷時にセルフタッピングボルトが装着されている場合があります。ボルト頭部に六角のくぼみがあるボルト（1637725-00-A）が装着されている車両の場合、トルク値は64N・mとなります。





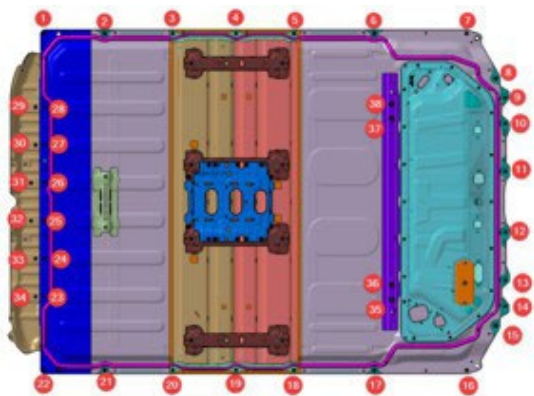
52. LHリアドアを開ける。

53. HVバッテリーを車両に取り付けるLHリアインナーボルト（x2）にトルクを十分にかけます（トルク49Nm）。

**i 注**

ボルトはリアメインカーペットの下にある。ボルト位置35-36。



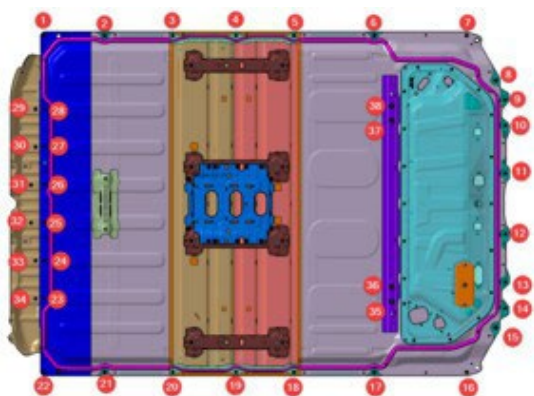


54. RHリアドアを開ける。

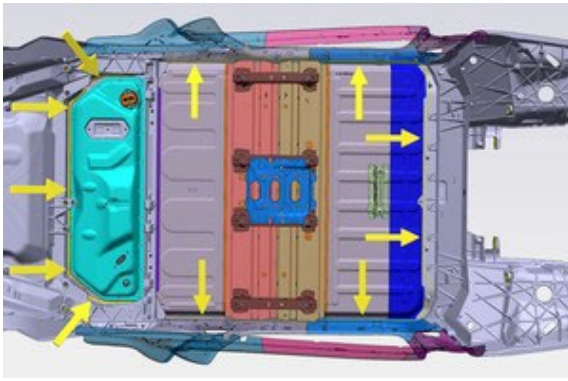
55. HVバッテリーを車両に取り付けるRHリアインナーボルト（x2）にトルクを十分にかけます（トルク49Nm）。

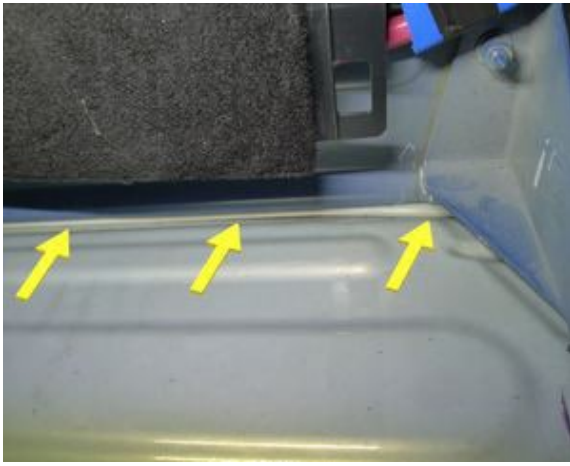
**i 注**

ボルトはリアメインカーペットの下にあります。ボルト位置37-38。



56. ウェードシールを目視点検し、隙間がことを確認する。







57. 車両を持ち上げ、車両の下からバッテリーテーブルを取り外す。

58. RDU オイルクーラーアウトレットパイプを取り付けます。

**i** 注

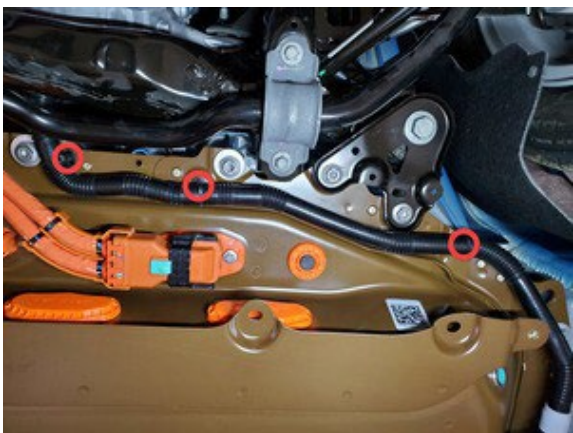
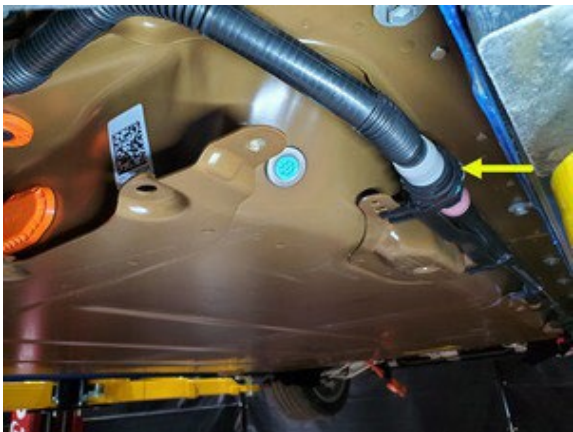
RDUの上で回転させ、サブフレームを後方に回してオイルクーラーへ。



59. RDUオイルクーラーアウトレットパイプを取り付けるクリップを取り付けます。

**i** 注

2x スプリングクリップ、5x クリップ。必要に応じてプラグを取り外す。



60. RDU HV ケーブルを RDU の上部に配置します。

**i 注**

サブフレームとHVバッテリーの間にあるロジックケーブルハーネスの下にあるケーブルを回転させる。



61. RDU HV ケーブルコネクタを RDU に接続します。

**i 注**

レバーが直立し、開いたあることを確認する。コネクタを慎重に固定し、レバーがかみ合うようにします。レバーを完全に固定し、赤いタブがロックされていることを確認する。ピンを傷つけないでください。



62. RDU HV ケーブルブラケットを RDU に取り付けるボルトを取り付けます（トルク 6Nm）。



63. RDU インバータインレットホースを取り付けます。

**i** 注

1x スプリングクリップ、1x クリップ。サブフレームとHVバッテリーの間のホースをRDUとPCSアウトレットに回します。必要に応じてプラグを取り外します。





64. RDU インバータインレットホースを RDU HV ケーブルに取り付けるクリップを取り付けます。

**i** 注  
1xクリップ。



65. RDU HV ハーネスコネクタを HV バッテリーに接続します。

**i** 注  
レバーが直立し、開いた位置にあることを確認する。コネクタを慎重に固定し、レバーがかみ合うようにします。レバーを完全に固定し、赤いタブがロックされていることを確認する。ピンを傷つけないでください。



66. コンプレッサーHVハーネスをHVバッテリーの後部に取り付けるクリップ (x4) を取り付けます。



67. HVコンプレッサーのコネクターをHVバッテリーに接続する。

**i** 注

レバーが直立し、開いたあることを確認する。コネクタを慎重に固定し、レバーがかみ合うようにします。レバーを完全に固定し、赤いタブがロックされていることを確認します。



68. ミッドエアロシールドパネルを取り付けます。パネル-エアロシールド-中間（脱着）を参照。

69. クーラントドレン容器をHVバッテリーのLH前側の下に置く。



70. 車両の LH フロント側で PT 供給ホースを接続します。

**i** 注

1x スプリングクリップ。必要に応じてプラグを取り外す。



71. HVコンプレッサーのコネクターをHVバッテリーに接続する。

**i** 注

レバーが直立し、開いたあることを確認する。コネクタを慎重に固定し、レバーがかみ合うようにします。レバーを完全に固定し、赤いタブがロックされていることを確認します。





72. フロント HV バッテリーバッシュプレートの LH 側に PT クーラントホースを取り付けるクリップを取り付けます。



73. FDU HV ハーネスコネクタを FDU の上側に配置します。



74. FDU HV ハーネスコネクタを FDU に接続します。

**i 注**

コネクタが FDU マニホールドの奥まで装着され、マニホールドの合わせ歯が コネクタレバーに接触していることを確認してください。



75. FDU HV ハーネスコネクタを接続し、リリースレバーをロックします。

**i 注**

レバーを所定の位置まで回転させながら、コネクタにわずかな圧力を加える。レバーをゆっくりと閉位置まで動かし、レバーの歯とマニホールドの歯が正しく噛み合っていることを確認します。完全に固定された状態では、マニホールドとコネクタの間にごくわずかな隙間があるはずです。





76. FDU HV ハーネスを FDU に取り付けるボルトを取り付けます（トルク 6Nm）。



77. クーラントドレン容器をHVバッテリーのRHフロント側 の下に置きます。
78. 車両の RH フロント側で PT リターンホースを接続します。



注

必要に応じてプラグを取り外す。

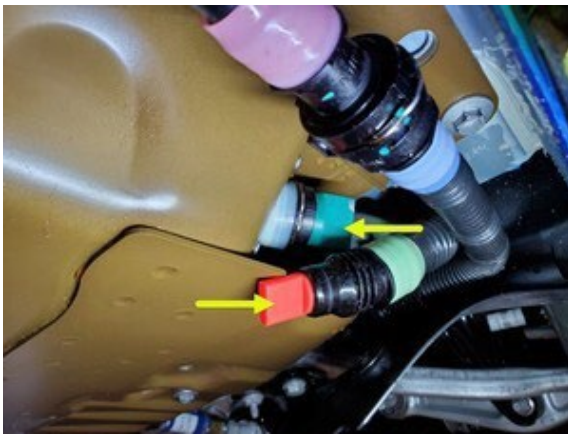


79. PTリターンホースをHVバッテリーパックのRHフロント側に取り付けるクリップを取り付けます。



80. HVバッテリーのRHフロント・インレット・ホースを接続します。

**i** 注  
必要に応じてプラグを取り外す。



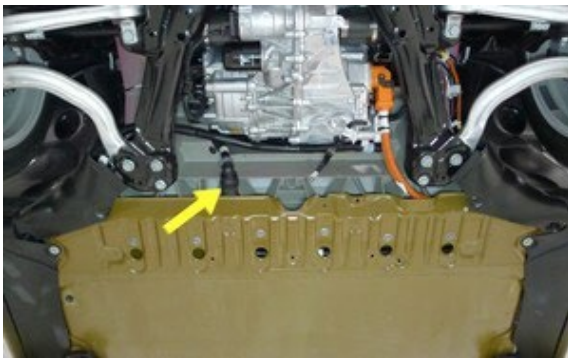
81. HVバッテリーRHフロントインレットホースをスキッドプレートに取り付けるクリップを取り付けます。



82. クーラントドレン容器をHVバッテリーパックの前面中央 部の下に置きます。

**i** 注

フロント左マニホールドバッテリー供給チューブの下。



83. フロント左マニホールドのバッテリー供給チューブを接続します。

**i** 注

1x スプリングクリップ、1x クリップ。必要に応じてプラグを取り外す。





84. 車両の下からクーラントドレン容器を取り外します。
85. LHとRHのフロントホイールライナーをHVバッテリーとホイールウェル下部に取り付けます。ホイールアーチャライナー」を参照。  
フロント - LH（構造用バック）（取り外して交換） **+** .
86. フロントエアロシールドパネルを取り付ける。パネル-エアロシールド-フロント（ストラクチャルバック）（脱着）」を参照。  
 .フロントエアロシールドを車両に固定しているボルトとファスナーを取り付けます。
87. 車両を完全に降ろし、ラックアームを車両から離す。
88. リフトから車両を押し出す。

**i 注**

補助をお勧めします。車両を安全に押せるのは、ごく短い距離と低速だけです。

89. 4つのドアをすべて開ける。

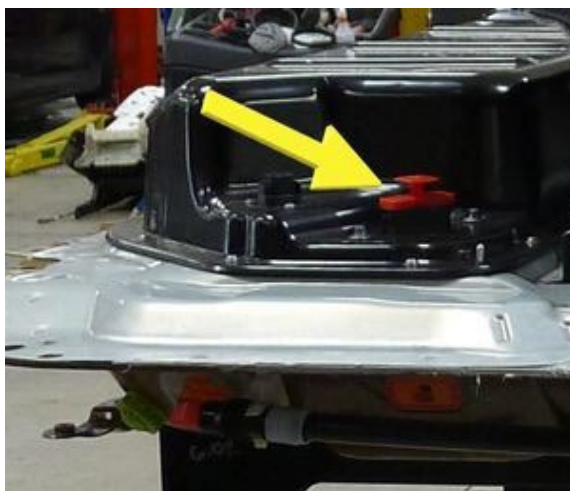
**i 注**

後部ドアは誤って閉まらないようにラッチしてください。

90. LV電源コネクタをHVバッテリーに接続する。



91. ロジックキャップを外す。



92. HVC ロジックコネクタを接続する。

**i** 注

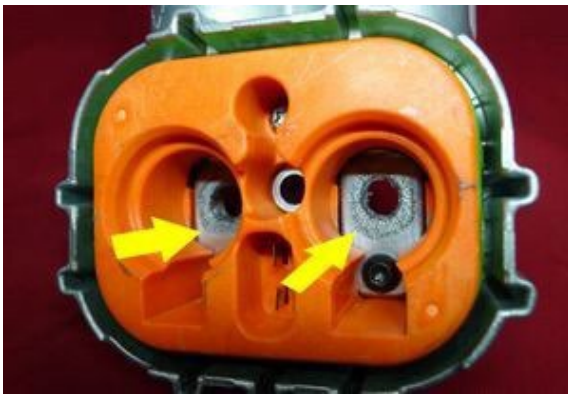
ハンドルを上方に回してコネクタをかみ合わせ、ロックタブを固定する。キャップを外す。



93. バスバー HV コネクタの接触面に残っている Penetrox を清掃する。

**i** 注

Penetroxの残留物を除去した後、1分間の乾燥時間を取る。バスバーを再使用する際は、HV コネクタを清掃する必要があります。



94. HV コネクタの接触面に残っている Penetrox を清掃する。

**i** 注

Penetroxの残留物を除去した後、1分間乾燥させる。



95. HVコネクターの接合部にペネトロックスを塗布する。

**i** 注

ペネトロックスA-13を直径5mm程度、両方のリードの穴の両側に2滴垂らし、均一に広げて接触面が完全に覆われていることを確認する。





96. バスバーキットのコネクタを配置し、HVヘッダに下げる。



97. チャージポートバスバーキットをHVヘッダーに取り付けるボルト (x2) を取り付けます (トルク 9 Nm)。



98. HVバスバーのリード線からボルトヘッドまでの各HVジョイントで日置抵抗試験を実施する。

**i 注**

2x HV ジョイント、許容できる抵抗値は  $0.050\text{ m}\Omega$  ( $50\text{ }\mu\Omega$ ) から  $0.195\text{ m}\Omega$  ( $195\text{ }\mu\Omega$ ) の間で  
す。抵抗値が $0.195\text{ m}\Omega$  ( $195\text{ }\mu\Omega$ )を超える場合は、高電圧ジョイントの抵抗が大きすぎます。フ  
ァスナーを取り外し、イソプロピルアルコールで洗淨した後、ファスナーを取り付けて再度テス  
トしてください。抵抗値が $0.050\text{ m}\Omega$  ( $50\text{ }\mu\Omega$ )より低い場合は、プローブの位置を変えて測定し  
てください。

を繰り返します。抵抗値が繰り返し $0.00\text{m}\Omega\sim 0.050\text{m}\Omega$  ( $50\mu\Omega$ )であれば、ヒオキテスト合格、次のステップに進む。



99. パスバーカバーアクセスドアを取り付けるボルトを取り付けます（トルク 9 Nm）。



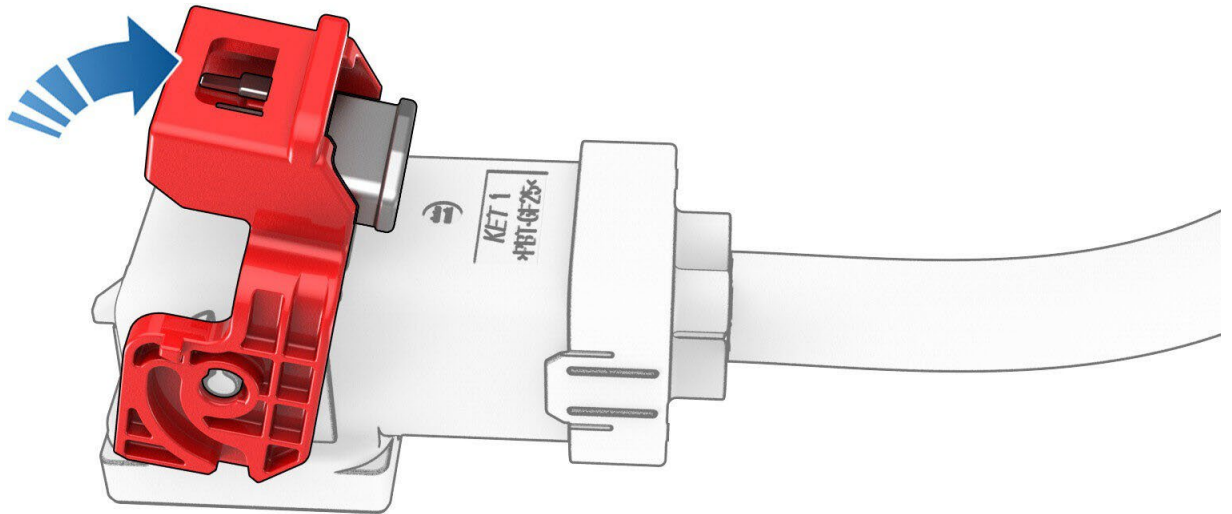
100. LHボディハーネスをリアボディのクリップに装着する。





101. 充電ポートとHVバッテリーの間に三相（AC）接続がある場合は、ください：

- a. 充電ポートとHVバッテリーハーネスの3相コネクターのハンドルを完全に上げる。



- b. 両手を使って、充電ポート～HVバッテリーハーネスの3相コネクターを補助ベイ3相ヘッダーにしっかりと接続する。

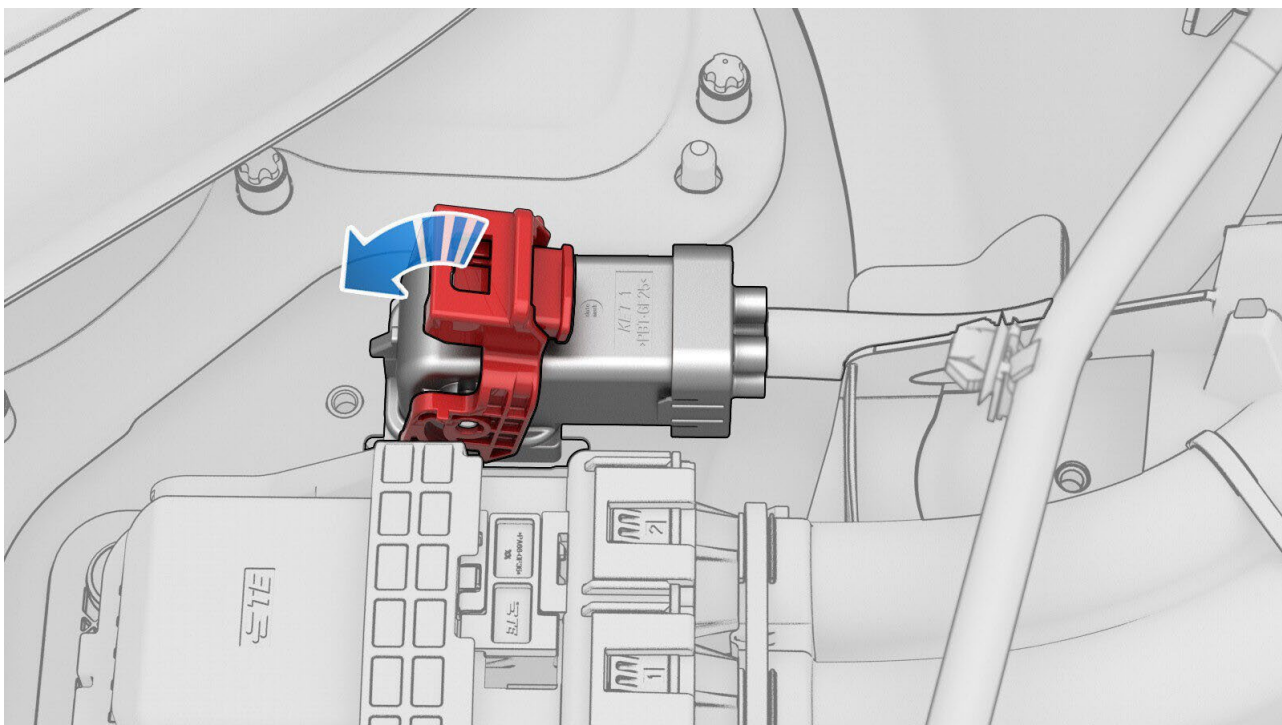
**⚠ 注意**

コネクターがヘッダーにはまることを確認してください。

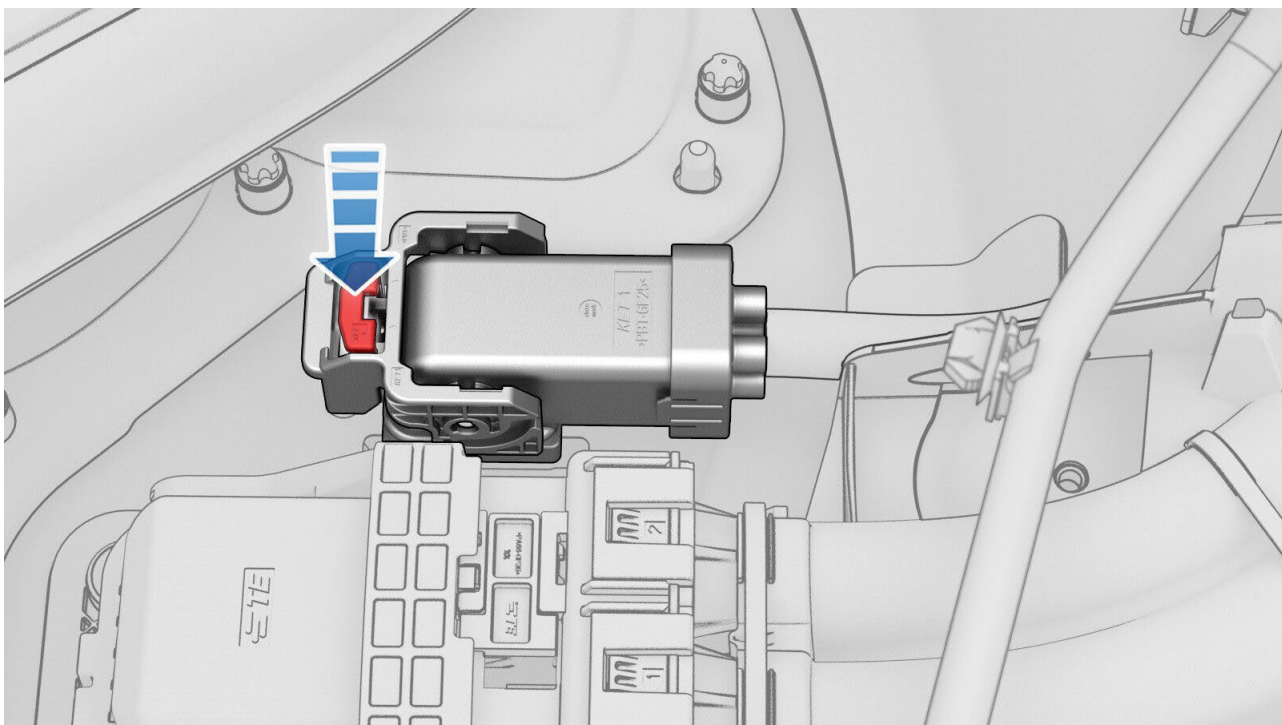
- c. 3相コネクターを3相ヘッダーに押し付けながら、ハンドルを完全に下げる。

**⚠ 注意**

ハンドルを下ろしたときにハンドルがバインドしないことを確認してください。



d. リリースをスライドさせて、3相コネクタハンドルを固定ロックします。



e. コネクタが完全に固定され、コネクタの両側を比較し、適切にラッチされていることを確認します。

**i 注**

コネクタが不適切に固定されているとコネクタの損傷や充電の問題につながる可能性があります。

102. LHシートフレームでロジックコネクタを接続します。



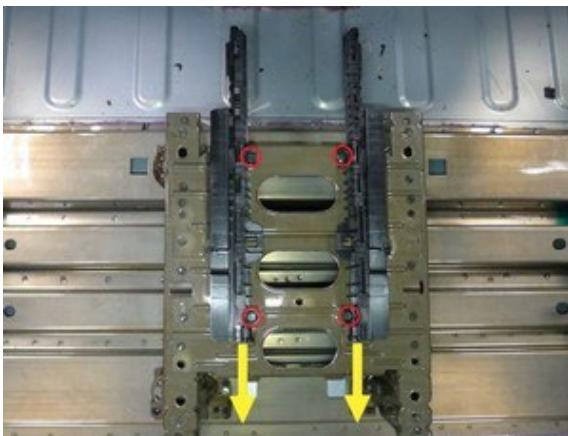
103. ロジックコネクターハーネスをLHシートフレームに取り付けるクリップを取り付けます。



104. LHおよびRHセンターコンソールロアールを取り付ける新しいボルト（x4）を取り付けます（トルク 4.5Nm）。

**i 注**

レールを後方にスライドさせ、センターコンソールライザーアセンブリにはめ込みます。



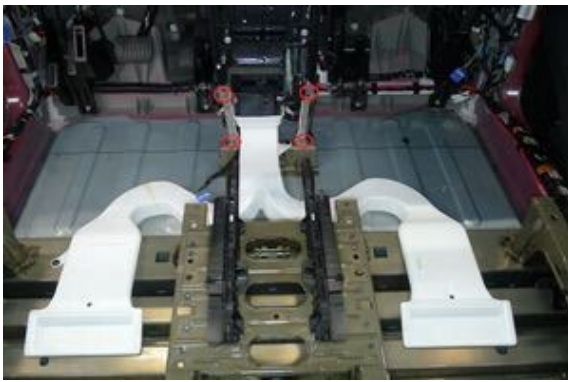
105. LHとRHのフロアダクトを取り付けます。



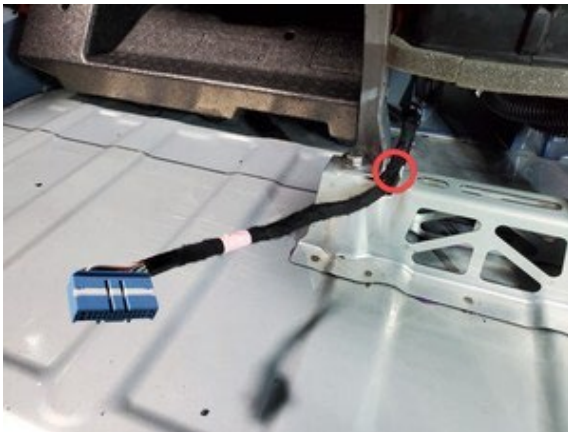
106. LHとRHの下部IPキャリアブラケットを取り付けるボルト（x4）を取り付けます（トルク25 Nm）。

**i** 注

ボルト4本、10mm、25Nm。



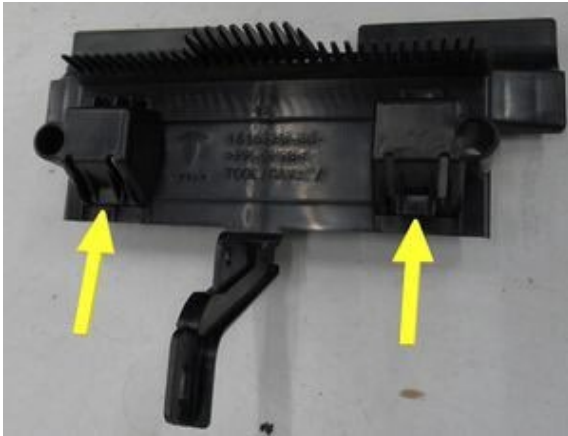
107. センターコンソールハーネスをボディにクリップを取り付ける。



108. LHライザー側カーペットサポートブラケットを取り付けます。

**i** 注

2xタブ。



109. LH フロント・キャビン・カーペットを車両に取り付ける。

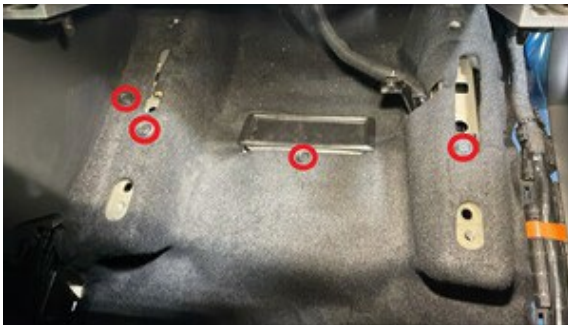
**i** 注

すべての端を固定します。短い端をセンターコンソールの下に挟みます。





110. フロントシートの下にLHフロントキャビンカーペットを取り付けるクリップ（x4）を取り付けます。



111. LHキャビンカーペットをキャビンサポートに取り付けるクリップを取り付けます。

**i 注**

プッシュクリップ2個、垂直クリップ1個。垂直クリップを最初に所定の位置に取り付けます。カーペットの装着を確認する。





112. RHライザー側カーペットサポートブラケットを取り付けます。

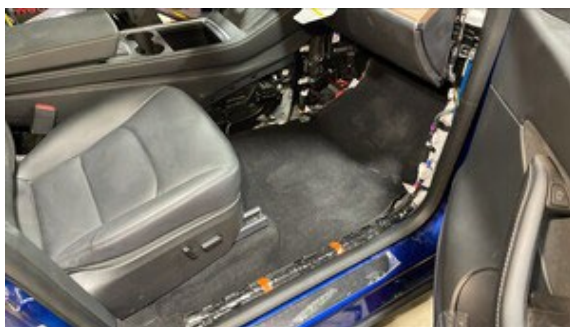
**i** 注  
2xタブ。



113. RHフロント・キャビン・カーペットを車両に取り付けます。

**i 注**

すべての端を固定します。短い端をセンターコンソールの下に挟みます。



114. フロントシートの下にRHフロントキャビンカーペットを取り付けるクリップ（x4）を取り付けます。



115. RHキャビンカーペットをキャビンサポートに取り付けるクリップ（x2）を取り付けます。

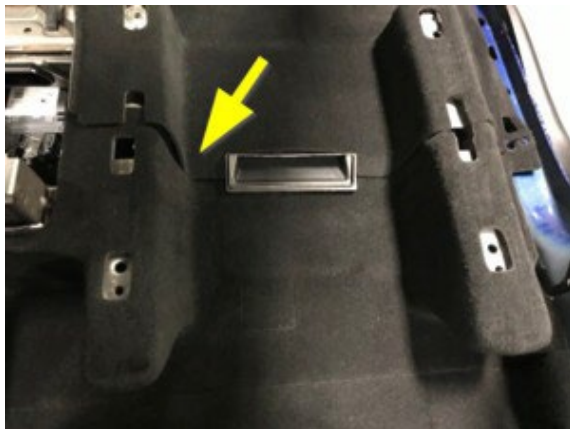
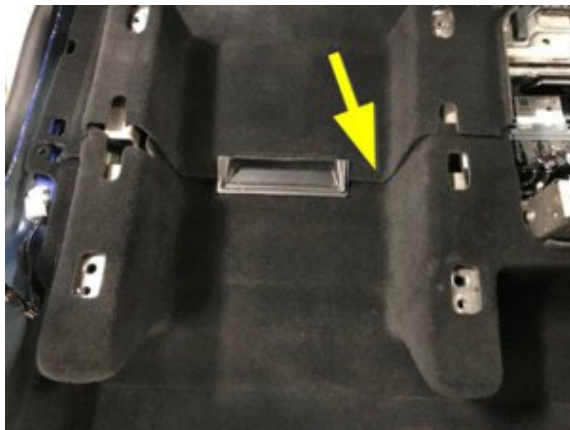
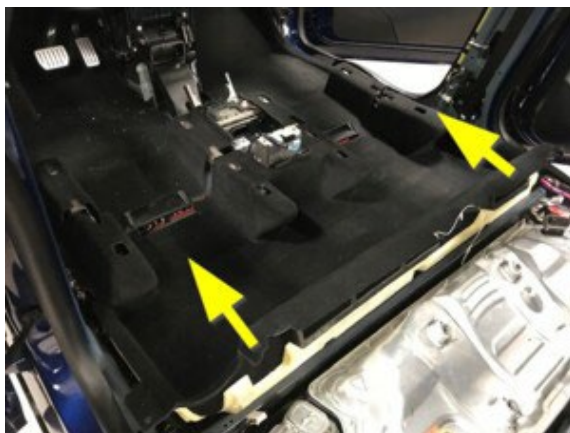


116. リアメインキャビンカーペットを車両に取り付ける。

**i 注**

リアメインカーペットをフロアボードに合わせ、前方にスライドさせます。リアメインカーペットがフロントメインカーペットとエアダクトの下に収まっていることを確認してください。





117. 後部メインキャビンカーペットを車両に取り付けるクリップ<sup>®</sup> (x3) を取り付けます。



118. リア・フロアマットを取り付ける。



119. LH と RH のローワーとミッドの B ピラートリムを取り付けます。トリム-Bピラー-ロア-LH（ストラクチャルバック）を参照。

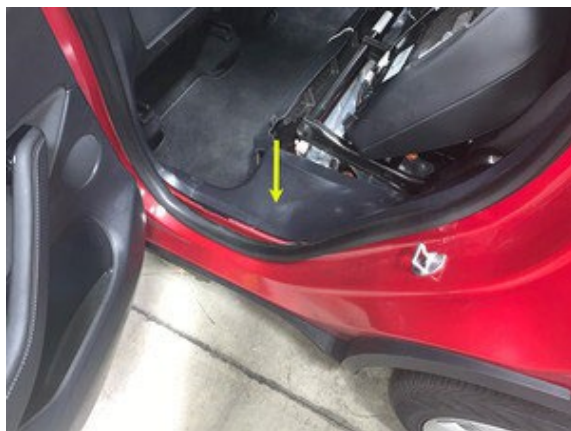
(取り外しと交換)

+

120. LH と RH リアシルトリムを取り付けます。

**i** 注

5xクリップ。後端をトランクサイドトリムの溝に合わせます。LH/RHリア・シル・トリムの後端をトランク・サイド・トリムに取り付け、前方に向かってクリップを取り付けます。



121. LHとRHのリア・ドア・元に戻します。



注

シールの下にあるシートピラーとシルのトリムタブ。

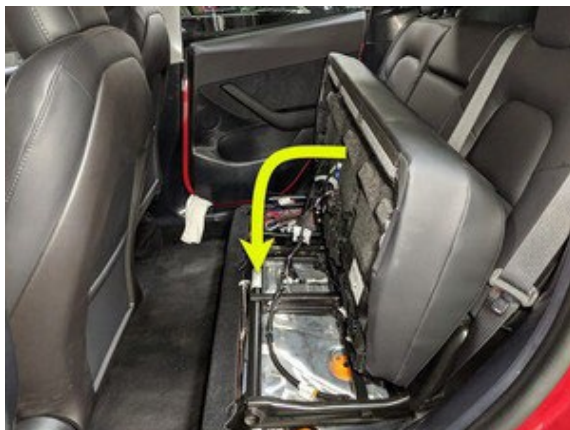


122. 2列目シートクッションの位置を変える。



注

クッションを後方にスライドさせ、バックルとフォームをシートレールに合わせます。プッシュ&プルテストでクッションが完全に固定されていることを確認してください。



123. センターコンソールを車両に取り付けます。センターコンソール(2.0)(ストラクチャーパック)(脱着)参照  
+ .

124. LHとRHのフロントフロアマットを取り付けます。

125. LHおよびRHフロント取り付けます。シートアセンブリ-1列目-LH（取り外しと交換）を参照。 .

126. LH フロントシートハーネスをシート ライザーの下に通し、クリップを シートライザーとカーペットに固定 します。

127. LHおよびRH下部Aピラートリムを取り付けます。トリム - A ピラー - 下部 - LH（取外しおよび交換）を参 照。 .

128. LH および RH 中間 A ピラーアセンブリを取り付けます。トリム-A ピラー-中間-LH (取外しおよび交換)を参照。

129. A ピラー下部のトリムに沿って LH と RH のフロントドアシールを貼り直します。



130. LH フットウェルカバーを取り付けます。カバー-フットウェル-ドライバー (取外しと交換)」を参照。

131. LH フットウェルカバーを取り付けます。カバー-フットウェル-助手席 (LHD) (取外しと交換)を参照。

132. 12V 電源を接続します。12V/LV電源 (切断と接続)を参照。 + .

133. LVバッテリーを取り外さずに、LVメンテナを車両に接続してください。LVバッテリーを取り外さないでください。  
および切断) + .

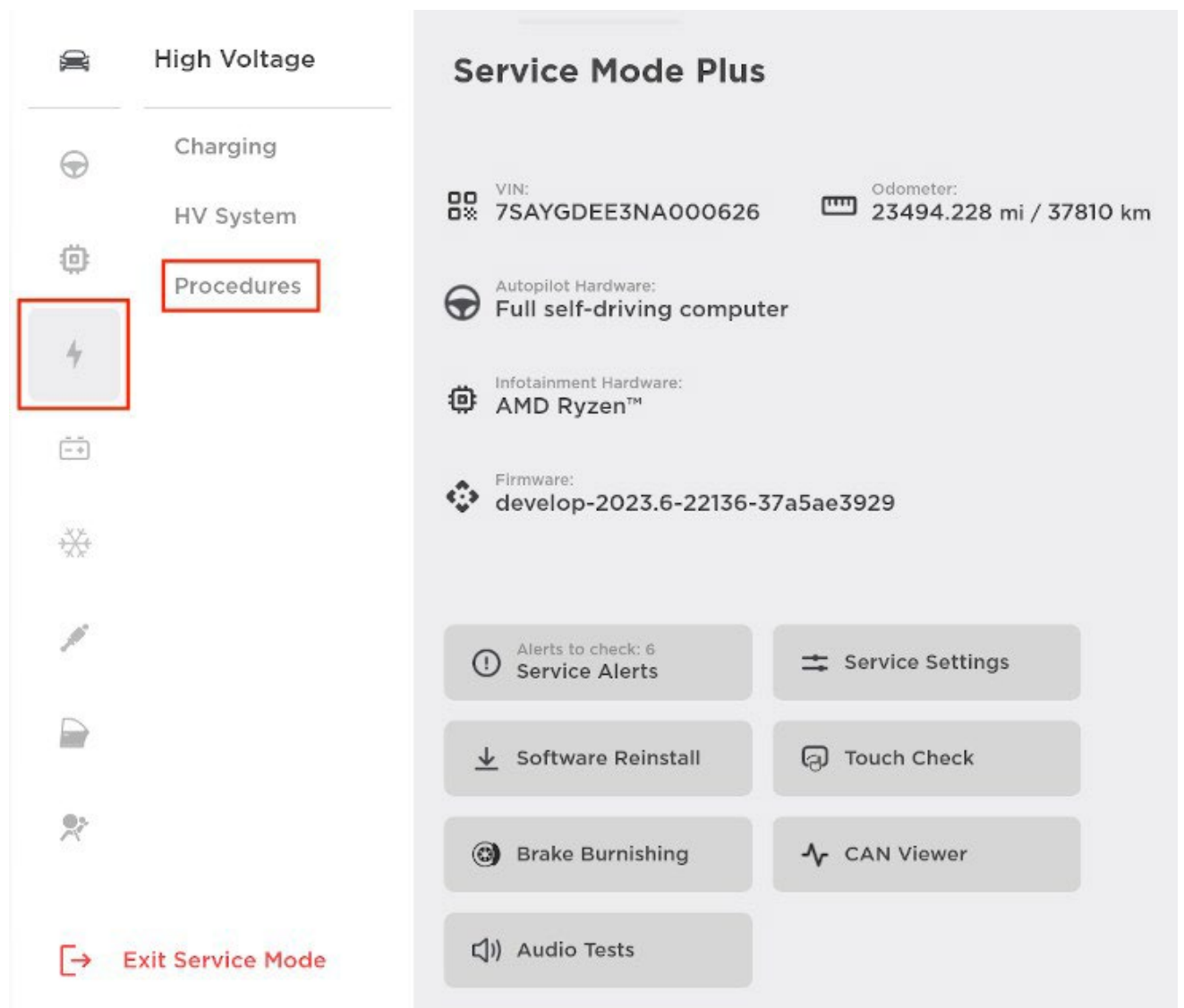
134. パークにシフトして電子パーキングブレーキのサービスモードを解除し、ホイールチョックを取り外してください。

135. Toolbox 3を搭載したノートPCを車両に接続します。Toolbox 3 (接続と切断)を参照。 + .

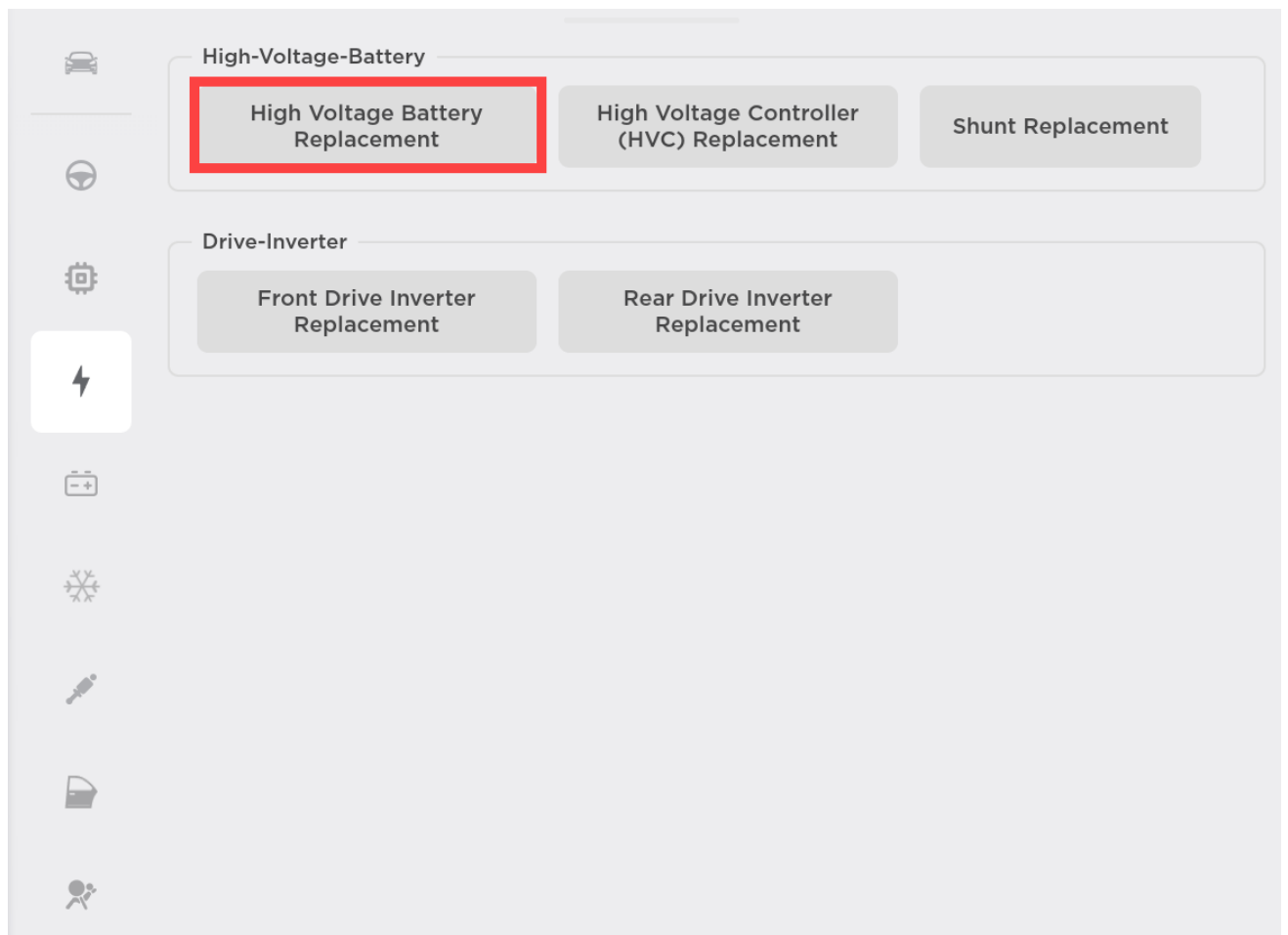
136. サービスモードプラスを有効にする。サービスモード・プラスを参照。 .

137. クーリング・システムの真空再充填を実施する。参照 クーリング・システム (バキューム補充) .

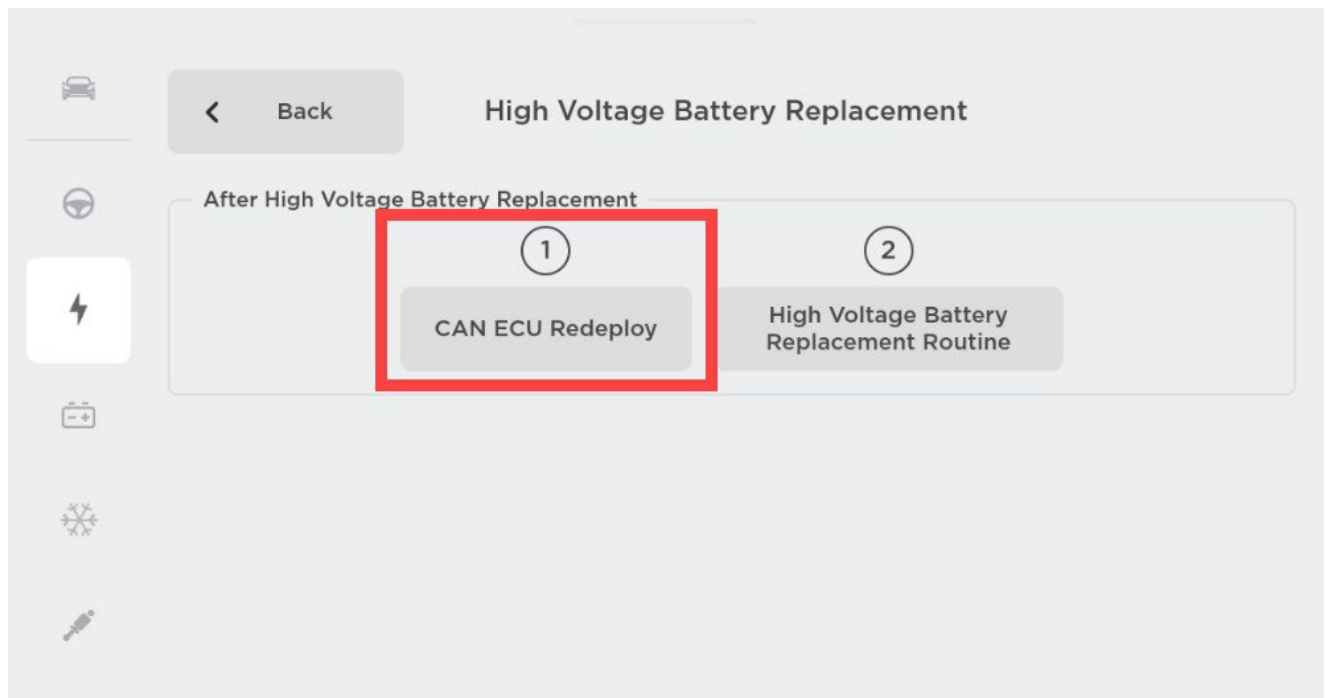
138. 車両のタッチスクリーンで、ライトニングボルトのアイコン> 手順をタッチします。



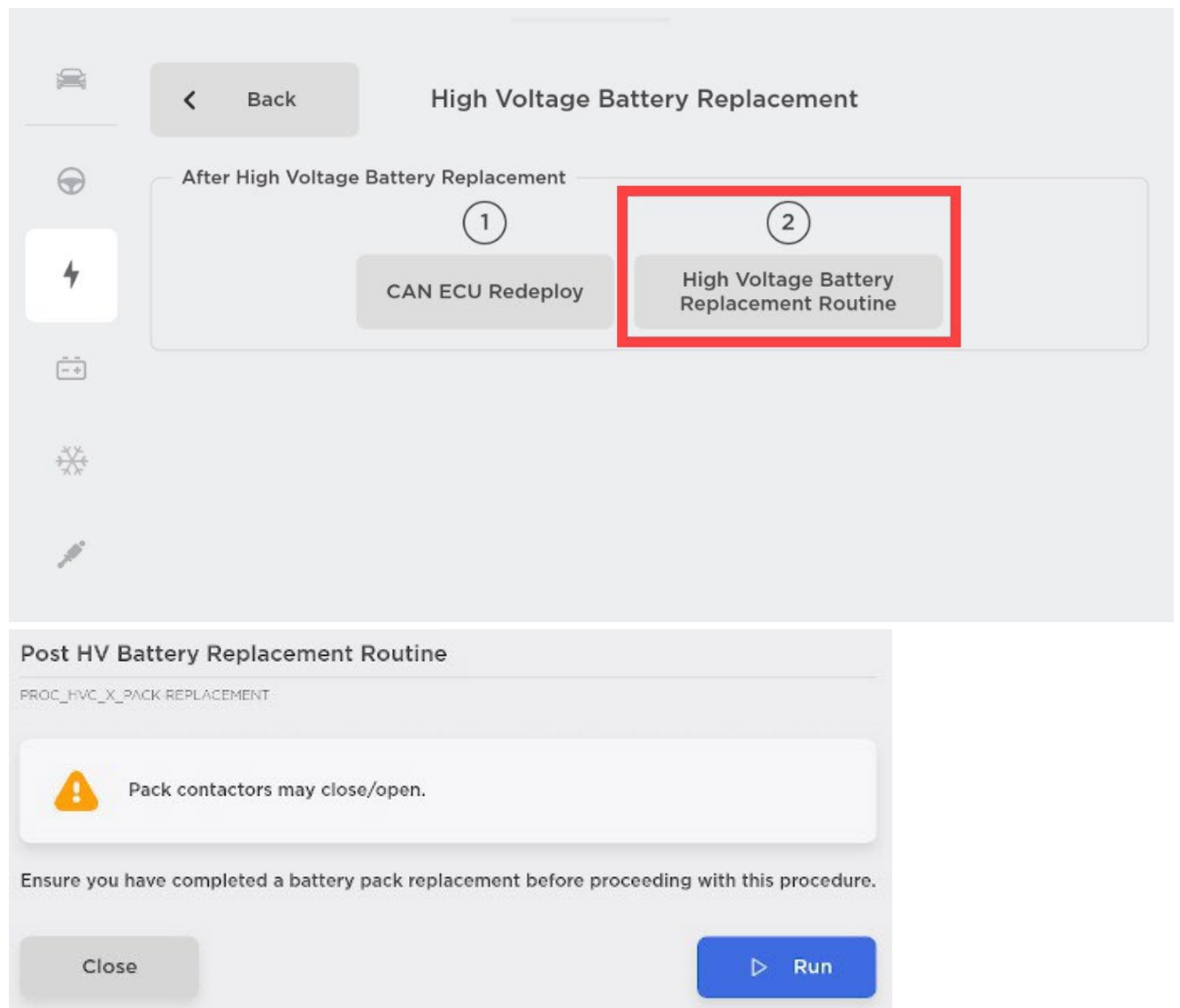
139. 高電圧バッテリー」の下にある「高電圧バッテリーの交換」をタッチします。



140. 高電圧バッテリー交換後」で「CAN ECU Redeploy」をタッチし、開いたウィンドウで「Run」をタッチします。



141. 高圧バッテリー交換後」の下にある「高圧バッテリー交換ルーチン」をタッチし、開いたウィンドウで「実行」をタッチします。



142. サービスモードプラスを無効にする。サービスモードプラスを参照。。
143. ラップトップを車両から取り外します。ツールボックス3（接続と切断） + を参照してください。
144. 12V/LVバッテリーメンテナを外します。
145. HEPAフィルター・アセンブリを取り付けます。アセンブリ - フィルタ - HEPA (取り外しと交換) + を参照してください。
146. ウォッシャータンクに取り付けます。

**i 注**

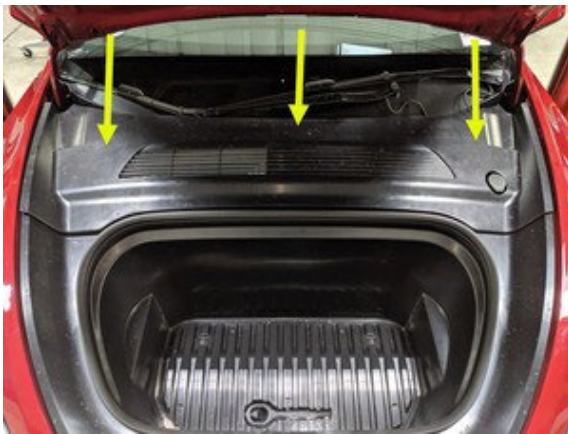
1x Oリング。取り付け後、ウォッシャーホースが適切に配線されていることを確認してください。



147. ウォッシャー液リザーバのネックを取り付けるボルトを取り付けます（トルク 5 Nm）。



148. リアアンダーフードエプロンを取り付ける。



149. LHフロントシートを後方に動かす。

150. LH フロントシート前部固定具を新しい ボルト (x2) を取り付けます（トルク 33 Nm）。



151. LHフロントシートを前方に移動させる。
152. LHフロントシートベルトリトラクターをシートに取り付けます。

**i 注**

シートプリテンショナーにリトラクターを挿入する。プッシュ・プル・プッシュテストで所定の位置にロックされていることを確認してください。



153. LHフロントシート後部固定具を取り付けるボルト (x2) を取り付けます (トルク33 Nm)。



154. LHフロントシートを元の戻す。

155. RHフロントシートを後方に移動する。
156. RHシートについて、手順149から154を繰り返します。
157. RHフロントシートを前方に移動させる。
158. すべての窓を上げ、ドアを閉める。
159. LHおよびRHロッカーからリフトパッドアダプターを取り外す。
160. LHおよびRHロッカーのアクセスホールにブチルパッチを取り付けます。

**i 注**

2xブチルパッチ、パッチに沿って圧力をかけ、ボディに完全に固定されていることを確認し、必要であれば新しいパッチと交換する。



161. LH および RH ロッカーキャリアを取り付けます。キャリア-ロッカーパネル-LH（構造用パック）（取外しおよび交換）を参照。
162. LH および RH ロッカーパネルをロッカーキャリアに取り付ける。カバー-ロッカーパネル-下部-LH（取外しおよび置換） **+** を参照。